

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 江の川（下流）・高津川流域の減災に係る取組について

令和2年度 第2回協議会

（書面開催）

江の川水系(下流)大規模氾濫時の減災対策協議会

江津市、川本町、美郷町、邑南町、島根県、
松江地方气象台、国土交通省中国地方整備局

高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

益田市、島根県、松江地方气象台、
国土交通省中国地方整備局

(1) 令和2年度の実施状況

(2) 令和2年出水期後の振り返りについての意見交換会

(3) 今後のスケジュール

(1) 令和2年度の実施状況

水防災意識社会 再構築ビジョン

関東・東北豪雨を踏まえ、新たに「**水防災意識社会 再構築ビジョン**」として、全ての直轄河川とその沿川市町村（109水系、730市町村）において、平成32年度目途に水防災意識社会を再構築する取組を行う。

＜ソフト対策＞ ・住民が自らリスクを察知し主体的に避難できるよう、より実効性のある「**住民目線のソフト対策**」へ転換し、平成28年出水期までを目途に重点的に実施。

＜ハード対策＞ ・「**洪水氾濫を未然に防ぐ対策**」に加え、**氾濫が発生した場合にも被害を軽減する「危機管理型ハード対策**」を導入し、平成32年度を目途に実施。

主な対策

各地域において、河川管理者・都道府県・市町村等からなる協議会等を新たに設置して減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進する。

＜危機管理型ハード対策＞

- 越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう**堤防構造を工夫する対策の推進**

＜被害軽減を図るための堤防構造の工夫(対策例)＞



＜洪水氾濫を未然に防ぐ対策＞

- 優先的に整備が必要な区間において、堤防のかさ上げや浸透対策などを実施

＜住民目線のソフト対策＞

- 住民等の行動につながるリスク情報の周知
 - ・立ち退き避難が必要な家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表
 - ・住民のとるべき行動を分かりやすく示したハザードマップへの改良
 - ・不動産関連事業者への説明会の開催
- 事前の行動計画作成、訓練の促進
 - ・タイムラインの策定
- 避難行動のきっかけとなる情報をリアルタイムで提供
 - ・水位計やライブカメラの設置
 - ・スマホ等によるプッシュ型の洪水予報等の提供



※ 家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域

江の川水系(下流)大規模氾濫時の減災対策協議会のこれまでの経緯

平成27年9月 関東・東北豪雨災害(鬼怒川の洪水氾濫)

平成27年12月 社会資本整備審議会答申

「施設の能力には限界があり、施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へと意識を変革し、社会全体で洪水氾濫に備える必要がある。

平成27年12月 水防災意識社会再構築ビジョン

平成28年7月4日

第1回 減災対策協議会

『江の川水系(下流)大規模氾濫時の減災対策協議会』設立

目標

山間狭窄部に点在する小集落などの地形特性を踏まえ、各地域が連携し、住民自ら避難行動をとることができる「江の川下流水害に強い地域づくり」を目指す。

取組方針

1. 住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組
2. 氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動
3. 浸水を一日も早く解消するための排水対策

平成28年10月11日

第2回 減災対策協議会

『江の川(下流)流域の減災に係る取組方針(案)』策定

平成29年5月24日

第3回 減災対策協議会

規約改定^{※1}、平成28年度のフォローアップ 等

※1: 邑南町の担当部局変更(危機管理課長⇒総務課長)

■緊急行動計画(平成29年6月20日)

平成28年8月、台風10号等の一連の台風による豪雨災害(中小河川の氾濫)を受けて、とりまとめられた委員会の答申(H29.1)を踏まえ、水防法改正に基づく協議会の設置、水害対応タイムラインの作成促進、要配慮者利用施設における避難体制構築への支援、水害危険性の周知促進、防災教育の促進等の32項目をとりまとめた。
※H29.12.1 中小河川等治水対策プロジェクトを設立し33項目に追加修正

平成30年5月31日

第4回 減災対策協議会

減災対策協議会を法定化・緊急行動計画への対応(地域の取組方針の見直し)等

平成30年11月5日

第5回 減災対策協議会

平成30年7月豪雨の振り返り(フォローアップ含む) 等

■緊急行動計画の改定(平成31年1月29日)

平成30年7月豪雨を受けて、とりまとめられた委員会の答申(H30.12)を踏まえ、社会全体で洪水に備える「水防災意識社会」を再構築する取組をさらに充実し加速するため、多くの主体の事前の備えと連携の強化の観点等より、2020年(令和2年)度を目途に取り組みすべき緊急行動計画を54項目に拡充。

令和元年5月31日

第6回 減災対策協議会

平成30年度フォローアップ・緊急行動計画への対応^{※2} 等

※2: 優先すべき検討課題を5項目設定

令和2年2月13日

第7回 減災対策協議会

令和元年度フォローアップ、規約改定^{※3} 等

※3: ダム部会の追加

令和2年5月29日

第8回 減災対策協議会

令和元年度フォローアップ、令和2年度の予定、治水協定、流域治水プロジェクト 等

■令和2年7月豪雨

江の川(下流)では、氾濫発生情報が発表され、浸水面積:265ha、浸水戸数:104戸の浸水被害が発生した。

令和2年10月22日 令和2年度出水期の振り返り意見交換会(担当者)

令和2年12月22日 令和2年度出水期の振り返り意見交換会のフォローアップ(担当者)

令和3年2月10日 第9回 減災対策協議会

高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会のこれまでの経緯

平成27年9月 関東・東北豪雨災害(鬼怒川の洪水氾濫)

平成27年12月 社会資本整備審議会答申

「施設の能力には限界があり、施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へと意識を変革し、社会全体で洪水氾濫に備える必要がある。

平成27年12月 水防災意識社会再構築ビジョン

平成28年7月13日

第1回 減災対策協議会

『高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会』設立

目標

急激な水位上昇などの河川特性や氾濫水が広範囲に広がる平野部等の氾濫特性などを踏まえ、発生しうる大規模氾濫時において、「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す。

取組方針

1. 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
2. 氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動
3. 浸水を一日も早く解消するための排水対策

平成28年9月28日

第2回 減災対策協議会

「高津川流域の減災に係る取組方針(案)」策定

平成29年5月30日

第3回 減災対策協議会

平成28年度フォローアップ

■緊急行動計画(平成29年6月20日)

平成28年8月、台風10号等の一連の台風による豪雨災害(中小河川の氾濫)を受けて、とりまとめられた委員会の答申(H29.1)を踏まえ、水防法改正に基づく協議会の設置、水害対応タイムラインの作成促進、要配慮者利用施設における避難体制構築への支援、水害危険性の周知促進、防災教育の促進等の32項目をとりまとめた。

※H29.12.1 中小河川等治水対策プロジェクトを設立し33項目に追加修正

平成30年6月1日

第4回 減災対策協議会

減災対策協議会を法定化・緊急行動計画への対応(地域の取組方針の見直し)等

■緊急行動計画の改定(平成31年1月29日)

平成30年7月豪雨を受けて、とりまとめられた委員会の答申(H30.12)を踏まえ、社会全体で洪水に備える「水防災意識社会」を再構築する取組をさらに充実し加速するため、多くの主体の事前の備えと連携の強化の観点等より、2020年(令和2年)度を目途に取り組むべき緊急行動計画を54項目に拡充。

令和元年5月30日

第5回 減災対策協議会

平成30年度フォローアップ・緊急行動計画への対応※ 等

※:優先すべき検討課題を5項目設定

令和2年2月13日

第6回 減災対策協議会

平成30年度フォローアップ

令和2年5月28日

第8回 減災対策協議会

令和元年度フォローアップ、令和2年度の予定、流域治水プロジェクト 等

令和3年2月10日 第9回 減災対策協議会

令和2年度の実施状況（江の川（下流）流域）

- 令和2年度第1回減災対策協議会において、令和2年度の各機関の実施予定を整理しており、本資料では、各機関の主な実施状況について報告する。
- 各機関の具体的な取組状況については、次ページ以降に示す。

機関名	令和2年度当初予定（主な実施予定）	令和2年度実施状況
国土交通省 浜田河川国道 事務所	<ul style="list-style-type: none"> 小学校における防災教育の実施 企業向け水害（防災）教育の実施 多機関連携型タイムライン運用及び検証・見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 簡易型河川監視カメラの整備（4箇所） 郷田小学校（4年生）を対象とした防災授業 イズミ・ゆめタウン江津の職員を対象とした水害に関する防災講座 多機関連携型タイムラインの運用結果の検証を踏まえ、“水防団からの氾濫発生に関する情報提供”の追加や簡易版の作成を実施
松江地方気象台	<ul style="list-style-type: none"> 大雨警報・注意報（浸水害）、洪水警報・注意報基準の見直しを今年度実施し、今後も調査を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 洪水危険度分布の改善（本川の増水に起因する内水氾濫の危険度を確認可能。 洪水予報〈臨時〉の発表開始。 土砂災害における短時間指標による大雨特別警報の運用開始。 大雨警報（浸水害）、洪水警報等の基準見直し。 大雨特別警報の発表基準を雨を要因とする基準に一元化。 5日先までの高潮の警報級の可能性について、わかりやすいバーチャートを用いた図形式で提供。 24時間以内に台風が発達する見込みの熱帯低気圧の予報をタイム支援のため「5日先まで」に延長。 気象庁HPの台風情報を14か国語で提供。
島根県	<ul style="list-style-type: none"> 住民の水防災意識の向上に資する防災教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理型水位計3基、簡易型河川監視カメラ19基を整備。 県・市町村職員向け水防研修会の実施 自主防災組織リーダー研修会の実施 新聞広報による情報発信 保育園児等を対象とした防災学習会

令和2年度の実施状況（江の川（下流）流域）

- 令和2年度第1回減災対策協議会において、令和2年度の各機関の実施予定を整理しており、本資料では、各機関の主な実施状況について報告する。
- 各機関の具体的な取組状況については、次ページ以降に示す。

機関名	令和2年度当初予定（主な実施予定）	令和2年度実施状況
江津市	<ul style="list-style-type: none"> 避難勧告等の発令範囲の区域設定を検討する 要配慮者利用施設に対する避難確保計画の作成支援や定住外国人に対する研修会を行う ハザードマップの作成過去・事業所へ配布 小中学校と連携し、防災教育の普及を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 一部地域で見直し 要配慮者利用施設に対する避難確保計画の作成支援を実施 R2年度中に作成・配布予定 出前講座により小中学校と連携し、防災教育を実施（計8回）
川本町	<ul style="list-style-type: none"> 要配慮者施設の避難計画作成に向けて支援、協議を行っていく ハザードマップの作成過去・事業所へ配布 小学校、中学校、高校での出前講座、自主防災組織向けの防災学習会を実施予定 	<ul style="list-style-type: none"> 避難確保計画全施設作成済み 令和2年9月に配布 川本小学校における防災授業の実施（令和2年10月15日）
美郷町	<ul style="list-style-type: none"> 要配慮者利用施設の避難計画策定の支援を行う 防災教育等においてイメージ動画の活用を検討 排水訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 未策定の事業所について相談と指導を実施 地区防災計画策定支援研修をオンラインで実施 内水排除用ポンプの整備及び水防団を対象とした研修会の開催
邑南町	<ul style="list-style-type: none"> 新たな地域緊急避難場所の選定を実施 土砂災害特別警戒区域の指定を踏まえ作成予定（H32年度以降） 各地区で防災学習会を実施予定（住民対象） 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな地域緊急避難場所を選定中 今年度指定完了予定のため、来年度（R3年度）に作成・配布を実施 R2.9.1に石見養護学校、石見東小学校にてそれぞれ防災学習会の実施

令和2年度の実施状況（高津川流域）

- 令和2年度第1回減災対策協議会において、令和2年度の各機関の実施予定を整理しており、本資料では、各機関の主な実施状況について報告する。
- 各機関の具体的な取組状況については、次ページ以降に示す。

機関名	令和2年度当初予定（主な実施予定）	令和2年度実施状況
国土交通省 浜田河川国道 事務所	<ul style="list-style-type: none"> 小学校における防災教育の実施 住民向け防災計画作成（マイ・タイムライン）の支援 多機関連携型タイムライン運用及び検証・見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 簡易型河川監視カメラの整備（8箇所） 吉田小学校（4年生）を対象とした防災授業（降雨体験機による大雨体験、防災授業） 益田市吉田地区の防災協議会へのマイ・タイムラインの作成支援（1回：水害の危険性等の学習、2回：マイ・タイム作成^{6月予定}） 多機関連携型タイムラインの運用結果の検証を踏まえ、“水防団からの氾濫発生に関する情報提供”の追加や簡易版の作成を実施
松江地方気象台	<ul style="list-style-type: none"> 大雨警報・注意報（浸水害）、洪水警報・注意報基準の見直しを今年度実施し、今後も調査を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 洪水危険度分布の改善（本川の増水に起因する内水氾濫の危険度を確認可能。 洪水予報（臨時）の発表開始。 土砂災害における短時間指標による大雨特別警報の運用開始。 大雨警報（浸水害）、洪水警報等の基準見直し。 大雨特別警報の発表基準を雨を要因とする基準に一元化。 5日先までの高潮の警報級の可能性について、わかりやすいバーチャートを用いた図形式で提供。 24時間以内に台風が発達する見込みの熱帯低気圧の予報をタイムライン支援のため「5日先まで」に延長。 気象庁HPの台風情報を14か国語で提供。
島根県	<ul style="list-style-type: none"> 住民の水防災意識の向上に資する防災教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理型水位計3基、簡易型河川監視カメラ19基を整備。 県・市町村職員向け水防研修会の実施 自主防災組織リーダー研修会の実施 新聞広報による情報発信 保育園児等を対象とした防災学習会
益田市	<ul style="list-style-type: none"> 益田市総合防災訓練を実施 定住外国人等を対象とした避難情報の提供 高津川水系の洪水の特徴を踏まえた防災教育 	<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害を想定した益田市防災訓練（新型コロナ対応版）を実施 定住外国人を対象にしたやさしい日本語での防災講座 吉田地区での防災講話（マイ・タイムライン含む）、建築士会への防災講座（ハザードマップ）、民生委員児童委員への防災講座（要配慮者への対応について）、吉田小学校での防災教育

国土交通省
浜田河川国道事務所

【概要】

令和元年度の実施状況について、各機関のソフト及びハード対策の取組を共有した。また、令和2年度の取組予定として、「住民向け防災計画作成支援(マイハザードマップ及びマイタイムラインの普及)、小学校を対象とした防災教育資料の普及、外国人への防災講座の運営支援、企業向け防災教育支援ツールの検討及び作成、排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施、多機関連携タイムラインの実施方針」について共有を行った。

さらに、既存ダム洪水調節機能の強化を図るために開催した**ダム部会の概要及び締結した治水協定の共有**、**昨年令和元年東日本台風を踏まえて、従前より一歩踏み込み、河川対策に加え、流域対策(集水域と氾濫域)と、ソフト対策を盛り込んだ「流域治水プロジェクト(仮称)」**について情報を共有した。今後のスケジュールについては、幹事会や担当者会議により協議を行い、次回の協議会で報告する。

開催日・場所: 書面開催

【主な意見(意見照会)】

(1) 令和元年度の実施状況・令和2年の実施予定

- ・特に意見無し。

(2) ダム検討会その後の経過

【江津市】

- ・浜原ダムの効果等については地元説明も行っていただきたい。

【邑南町】

- ・広島県側のダム放流情報や上流側の河川水位の情報が重要である。

【美郷町】

- ・広島県側のダム貯留効果は大きいと思う。

(3) 流域治水プロジェクトについて

【美郷町】

- ・「水害に強い地域づくりのための移転集約WG(仮称)」については、一般論ではなく、自治体ごとに、個別に具体的な議論を行うことがよいと考える。例えば、コンパクトシティといった考え方は、地域によっては、高齢者が別転地に移動すること等困難である。

令和2年度 第1回
江の川水系(下流)大規模氾濫時の減災対策協議会
(書面会議)

議事次第

1. 開会	
2. 議事	
(1) 令和元年度の実施状況について	P2
(2) 令和2年度の実施予定について	P30
(3) ダム検討会その後の経過(協定締結)	P37
(4) 流域治水プロジェクトについて	P53
(5) 今後のスケジュール	P62
3. その他	

※この協議会で対象とする江の川水系(下流)とは、一般水系江の川のうち、美郷町内の江の川を指す。

令和2年度第1回江の川水系(下流)減災対策協議会
議事次第

【概要】

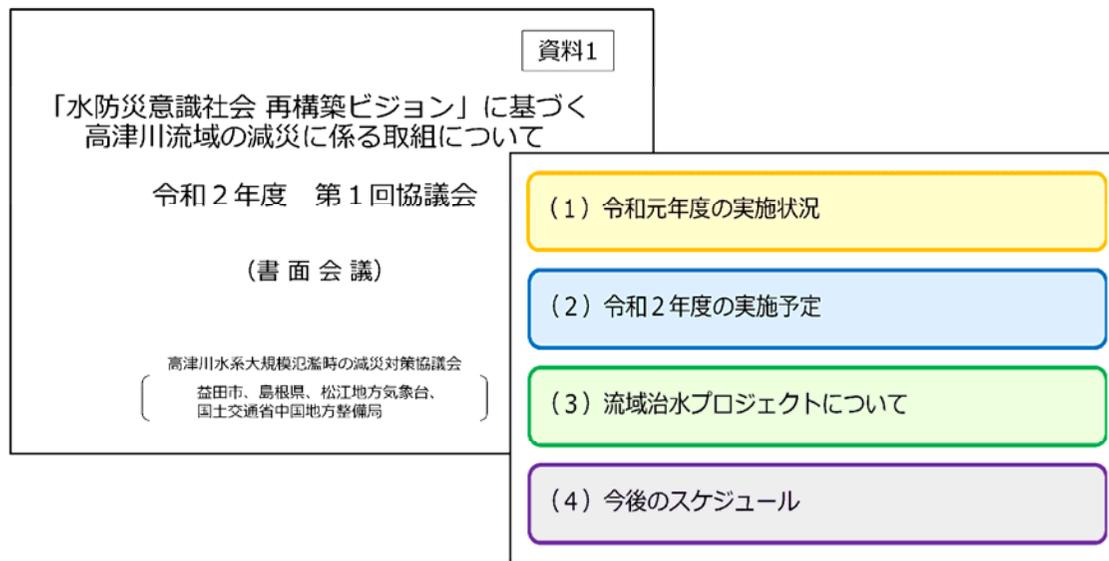
令和元年度の実施状況について、各機関のソフト及びハード対策の取組を共有した。また、令和2年度の取組予定として、「住民向け防災計画作成支援(マイハザードマップ及びマイタイムラインの普及)、小学校を対象とした防災教育資料の普及、外国人への防災講座の運営支援、企業向け防災教育支援ツールの検討及び作成、排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施、多機関連携タイムラインの実施方針」について共有を行った。

さらに、昨年の令和元年東日本台風を踏まえて、従前より一歩踏み込み、河川対策に加え、流域対策(集水域と氾濫域)と、ソフト対策を盛り込んだ「流域治水プロジェクト(仮称)」について情報を共有した。今後のスケジュールについては、幹事会や担当者会議により協議を行い、次回の協議会で報告する。

開催日・場所: 書面開催

【主な意見(意見照会)】

・特に意見無し。



令和2年度第1回高津川流域 減災対策協議会
資料

令和2年度 第1回
高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会
(書面会議)

議 事 次 第

- 1. 開会
- 2. 議事
 - (1) 令和元年度の実施状況について…………… P2
 - (2) 令和2年度の実施予定について…………… P25
 - (3) 流域治水プロジェクトについて…………… P32
 - (4) 今後のスケジュール…………… P40
- 3. その他

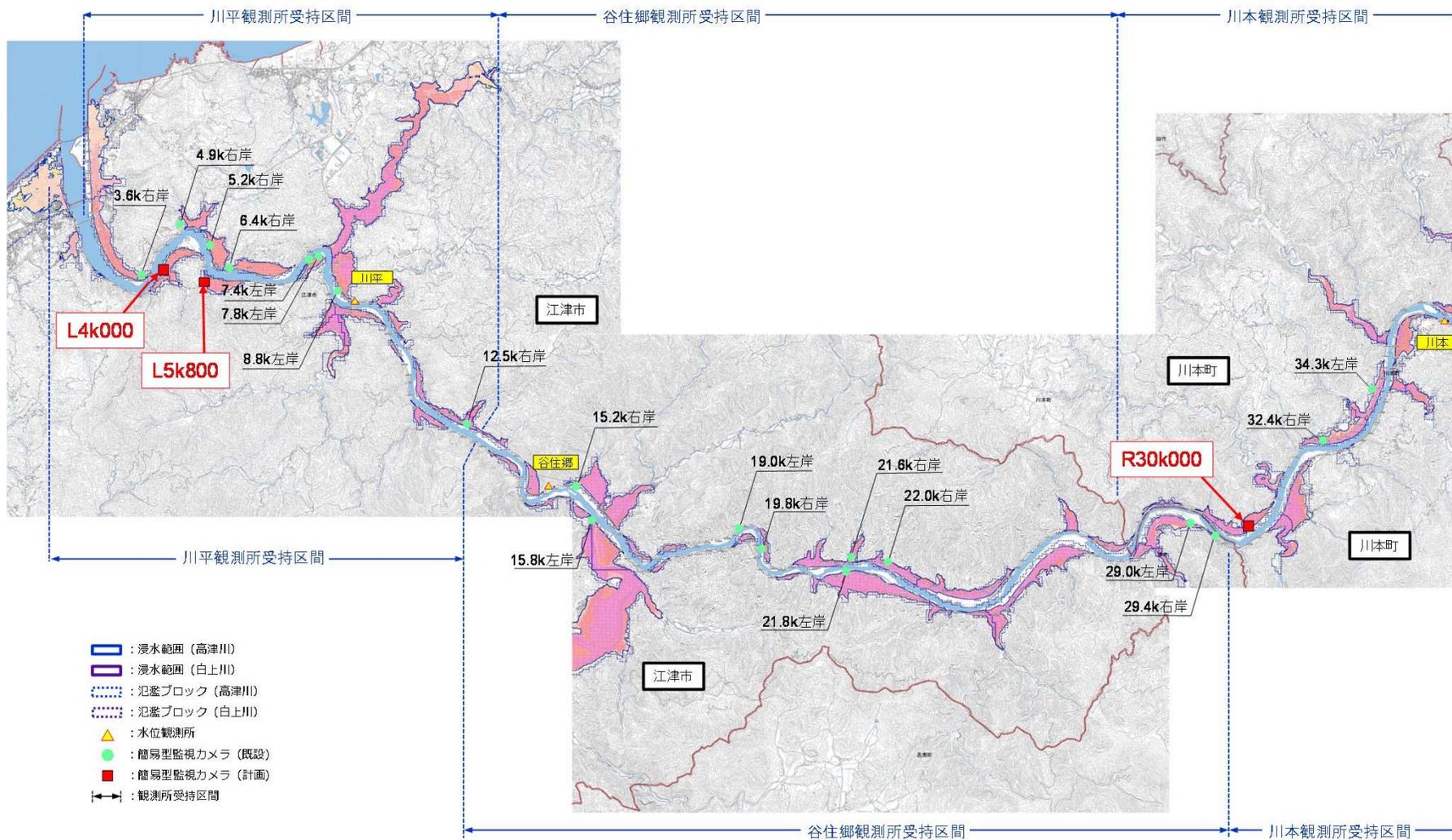
※この協議会で対象とする高津川水系とは、一級水系高津川国管理区間を示す。

令和2年度第1回高津川水系減災対策協議会
議事次第

■洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備

【簡易型河川監視カメラの設置】

○令和2年7月豪雨による氾濫を踏まえ、4箇所（川平、谷住郷、川本）に簡易型河川監視カメラを整備。

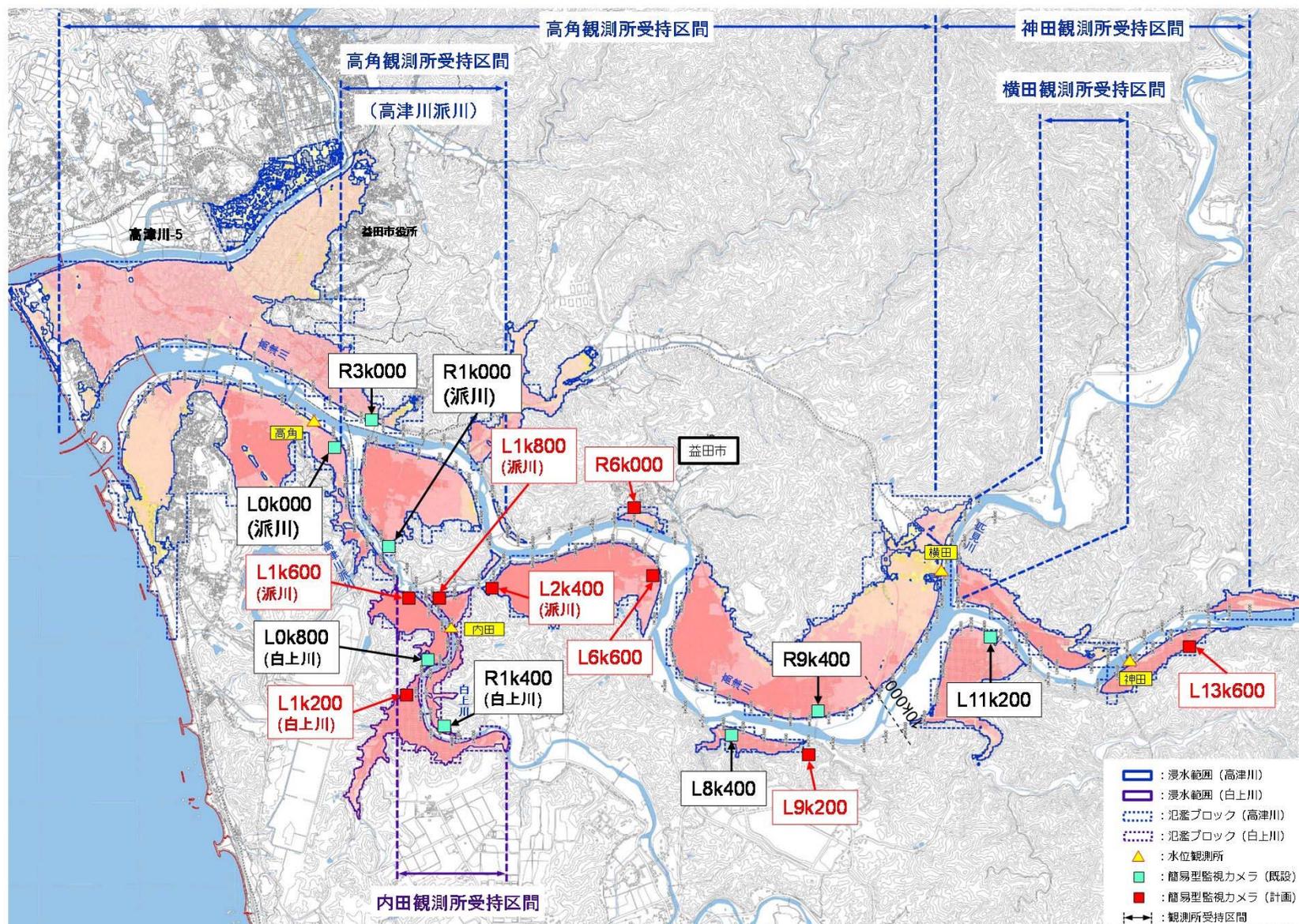


簡易型河川監視カメラの整備（高津川）

■洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備

【簡易型河川監視カメラの設置】

○令和2年7月豪雨による氾濫を踏まえ、8箇所に簡易型河川監視カメラを整備。



■防災教育の促進:防災教育に関する支援を実施する学校を教育関係者等と連携して決定し、防災教材資料の作成と出前講座の実施 **【防災授業(出前講座)実施:郷田小学校】**

- 教員の意向に沿い、小学4年生を対象とした授業に活用できる防災教材を作成し提供した。
- 出前講座では、昭和47年洪水・令和2年7月豪雨で氾濫した江の川の写真や、堤防決壊の映像等により、水害のおそろしさを伝えた。また、クイズにより大雨のときに自分でできることを考え、発表した。



<職員による出前講座の実施状況>



<質問やクイズによる生徒の発言状況>

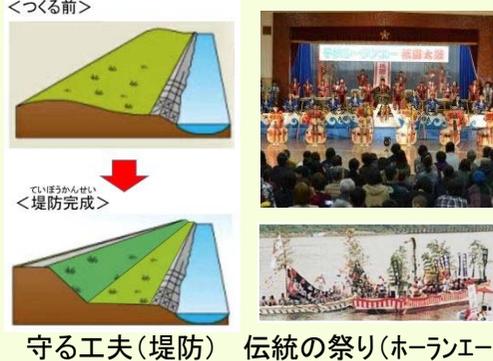


■ 作成した教材

■ **身近な江の川は氾濫する**
令和2年7月豪雨でも、おそろしい水害が起きたことを学ぶ



■ **私たちと江の川**
川の恩恵と伝統を堤防で守り、江の川と共存していくことを学ぶ



■ 防災教育に関する協議

- 令和2年 8月5日 第1回協議 授業内容、今後のスケジュール (授業資料は、メール等により適宜確認)
- 令和2年 9月25日 第2回協議 授業資料の最終確認
- 令和2年 9月30日 防災授業 (出前講座2コマ)

■ 大雨のときにできること (生徒の意見)

- ・水が増えて危ないので、雨が降っているときは川には行かない。
- ・避難場所を探す間に逃げ遅れるかもしれないので、先に決めておく。
- ・洪水になって家が水に浸かったら困るので、早めに準備しておく。

■ 講座での生徒の様子 (先生のご感想)

児童の実態や学習の流れに合わせた資料を作成していただき、子ども達は江の川と水害について、より身近に捉えることができました。いつも目にする場所も被害にあったことがよくわかったと思います。

■多様な主体による被害軽減対策に関する取組：民間企業における水防災意識向上のための情報提供 【水害を対象とした防災講座：イズミ・ゆめタウン江津】

○ゆめタウン江津は浸水想定区域内ではないが、江津市内の浸水想定区域の説明を行うとともに、昭和47年洪水・令和2年7月豪雨で氾濫した江の川の写真を提供し、従業員の水防災に対する意識啓発を行った。
○店長様より、自分の命は自分で守り、災害時の店の役割の重要性についてのコメントがあった。



<会場全体の様子>



想定最大規模の洪水浸水想定区域図について説明



<店長様による総括>

■ 作成した教材

- 令和2年7月豪雨資料
- 浸水深の説明資料

■ 段階的に発表される警戒レベル等の説明資料

1	2	3	4	5
大雨の警報	大雨の注意報	大雨の特別警報	洪水の注意報	洪水の特別警報

■ 防災情報の入手方法

■ 開催案内チラシ

『水害に備える防災講座』
～ 職員の皆さまと大切なお客様のために ～

日時：2020年11月27日（金曜日）10:00～11:00
場所：鳥取県江津市志戸2306-30 ゆめタウン江津 会議室

■ 当日の予定

- 10:00 開会
- 10:05 防災講座
 - * 江の水害を知る
 - * 水害のおそれがある場合の行動を知る
- 10:55 閉会

【主催】国土交通省 浜田河川国道事務所

- 実施日及び時間：令和2年11月27日（金）10:00～11:00
- 参加者：23名
- 当日のスケジュール：10:00 開会
10:05 防災講座
10:55 閉会

■ 店長様からの総括コメント

- 人命第一、命を守る行動が大事であり、命があればなんとか復興できる。
- ショッピングセンターとして、地域の中で食料品・衣料品を提供するという社会的責任を果たす必要がある。
- 江の川の水害は、近い将来必ず起きると思って日頃からの備えをしましょう。

■洪水浸水想定区域内の定住外国人、観光客等を対象とした避難情報の提供

【出前講座実施：益田市人権センター】

- 益田市日本語ボランティアグループの助言を踏まえ、定住外国人向けの防災教材を作成した。
- 出前講座では、高津川及び益田川の水害履歴やハザードマップを活用し、益田市の水害危険性を把握し、参加者の居住地に対応した地図に自宅、避難場所、避難経路を記入するとともに、外国人向けの防災アプリ（Saftytips）のインストール及び機能説明、河川ライブカメラ映像の確認を行った。



＜防災講座を受ける外国人参加者＞



＜ハザードマップで自宅を確認する様子＞



＜スマートフォンで情報を確認する様子＞

ー 当日のスケジュール ー

1. はじまり（開会挨拶）
2. 防災講座
3. ハザードマップで確認しよう
4. 避難するタイミング
5. おわり（まとめ）

- **どこが危険？**
ハザードマップで自宅を確認
- **どこに避難する？**
ハザードマップで避難場所や避難経路を確認
- **いつ避難する？**
避難情報等をアプリで確認



避難所を確認する様子

コロナ対策については、

- ・換気、検温、消毒、マスク等
- ・Web会議システムの活用



(web会議システムによる講師の説明)

■実施日及び時間：

令和3年1月17日（日）9:40～11:40

- 参加者：ベトナム人（4名）、中国人（4名）、タイ人（3名）、インドネシア人（1名）、日本人ボランティアスタッフ（4名）

■益田市危機管理課のコメント

- ▶ 水があふれてきたときには慌てられると思いますが、益田市や国土交通省などが「危ないですよ」という情報を出しています。そして益田市に電話で状況を聞くこともできます。
- ▶ 水が溢れだしてから逃げるのではなく、情報を自分から得て、早く逃げてもらいたいことが一番だと思います。



■防災教育の促進:防災教育に関する支援を実施する学校を教育関係者等と連携して決定し、防災教材資料の作成と出前講座の実施 **【防災授業(出前講座)実施:吉田小学校】**

- 教員の意向に沿い、小学4年生を対象とした授業に活用できる防災教材を作成し提供した。
- 出前講座では、降雨体験機による大雨体験を行ったあとで、昭和58年の吉田小学校の浸水写真や令和2年7月豪雨で氾濫した江の川の写真や、堤防決壊の映像等により、水害のおそろしさを伝えた。また、クイズにより大雨のときに自分でできることを考え、自宅で親と避難先や気象情報の入手の確認を行った。



<降雨体験機の実施状況>



<職員による出前講座の実施状況>



<質問やクイズによる生徒の発言状況>

■作成した教材

■昭和58年に吉田小学校も浸水被害が起きたことを学ぶ



■高津川と益田川の流域を学ぶ



■小学校と自宅周辺の水害危険性を学び、避難先を考える



■親と一緒に考える宿題シート



■防災教育に関する協議

- 令和2年10月6日 第1回協議 授業内容、今後のスケジュール (授業資料は、メール等により適宜確認)
- 令和2年9月25日 第2回協議 授業資料の最終確認
- 令和2年11月9日・10日 降雨体験機と防災授業 (出前講座2コマ)

■降雨体験機の感想

- ・大雨の体験をして少し怖かったけど、あの雨の量が5時間くらい降り続けたら、ぞっとします。100mmはめちゃくちゃ激しかった。
- ・もし、こんな雨が降ったら、洪水になる前に避難所や、家が高い所にある友達の家へすぐ避難しようと思った。

■防災授業の感想

- ・雨はあまり気にしたことがなかったです。洪水は避難しないといけないうし、避難の用意もしたい方がいい。あと、スマホやテレビで確認したほうがいいことを知りました。
- ・雨は(降っても)水溜まりになるだけだと思ったけど、降り続けると洪水になると知った。

■地域防災の促進：マイ・タイムラインの作成を支援する地区を益田市と連携して決定し、地域の水害危険性とマイ・タイムライン作成等の防災出前講座の実施 **【防災出前講座の実施：吉田地区】**

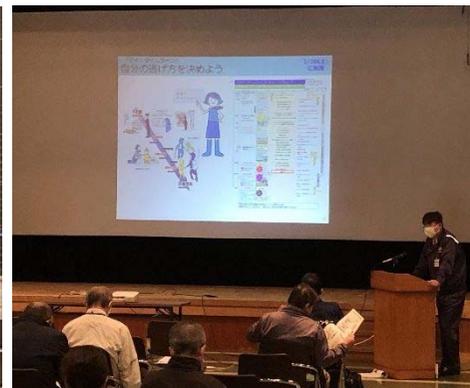
- 益田市吉田地区の防災協議会における防災出前講座として、高津川及び益田川の水害危険性等を学習し、地域の自治会長や防災リーダーを対象とした第1回講習会（座学）を実施した。
- 第2回講習会はワークショップ形式によるマイ・タイムライン作成講習会を実施予定（R3.6予定）である。



<防災協議会による開会挨拶>



<出前講座の実施状況>



<マイ・タイムラインラインの説明>



<会場全体の様子>

■ 作成した教材

■ 吉田地区のハザードマップ



■ 浸水深の説明資料



■ 段階的に発表される警戒レベル等の説明資料



■ 防災情報の入手方法



■ 開催案内チラシ

島根県益田市吉田地区

防災講座

みんなで助ける、みんなが助かる

今年の7月に江のはらまはらしたけど、高津川と益田川は、大雨の時には大丈夫？

＜令和2年7月豪雨による江の川の被害写真＞

吉田地区における「逃げ遅れゼロ」を目指すために、水害に対する知識・知恵を共有する防災講座を行います。

11/21 (土) 10:00~

益田市立市民学習センター 多目的ホール

【第1時間】

- 令和2年7月豪雨による江の川の浸水状況
- 過去の高津川と益田川の浸水状況
- 高津川と益田川の水害危険性
- 上流の雨は何時頃で吉田地区にやってくる？
- 高津川と益田川が氾濫したらどうなる？
- 大雨が予想される時の避難行動を考える
- マイ・タイムラインとは？
- マイ・タイムラインを作ってみよう！

- 実施日及び時間：令和2年11月21日（土）10:00～11:00
- 参加者：約40名
- 当日のスケジュール：10:00 開会
10:05 防災講座
10:55 閉会

【第2回講習会】

- 令和3年6月予定
- 『逃げキッド』を活用したマイ・タイムライン作成講習会

■ 第2回講習会終了後

- 参加者（自治会長や防災リーダー）により、地域住民向けのマイ・タイムライン作成講習会等による作成促進

- 令和2年度の出水期におけるタイムラインの運用状況や関係機関の活用状況等を踏まえ、タイムラインの見直しを行うために、関係機関へアンケート調査を実施。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からタイムライン検討会は、書面開催としており、現在、アンケート結果を踏まえた、修正方針について、関係機関へ意見照会を実施。

■タイムラインの運用状況と課題

➢ 令和2年7月豪雨では江の川で氾濫が発生し、タイムライン運用ではレベル5以降まで移行し、**関係機関へレベル移行のメール配信を実施**した。但し、水位上昇が早く、高津川でも同時にメール配信を実施していることもあり、**一時、配信が遅延**。

■関係機関の活用状況と課題（令和2年出水期の振り返りアンケート）

- ①19機関が出水時にタイムラインを活用した。
- ②一方で、**令和2年7月豪雨のような洪水では、行動項目の多いタイムライン詳細版での対応は困難(煩雑)である(63%)**。

■課題への対応例

【タイムライン運用の課題への対応】

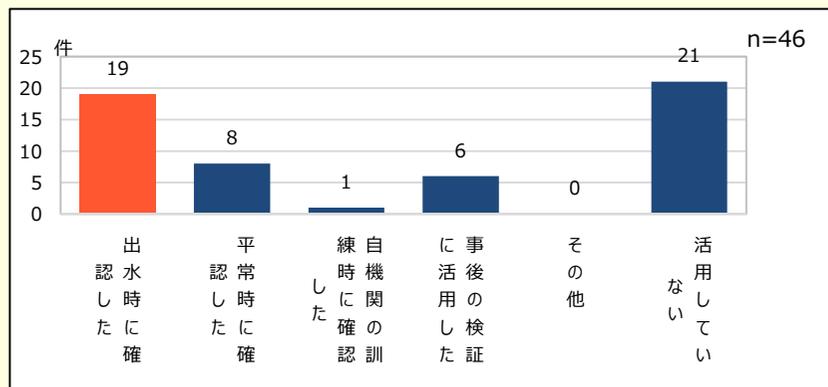
メール配信に頼らず関係機関がタイムラインの状況を確認できるようなwebサイト等の仕組みについても構築。
 (※タイムラインに関する情報を収集・確認できるwebサイト等があれば活用したいとの意見もアンケートで多く挙げられた)

【タイムライン活用の課題への対応】

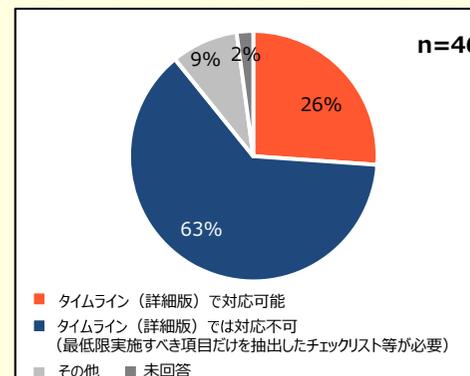
タイムライン詳細版のみでは困難（煩雑）との意見から、**最低限実施すべき項目だけを抽出**した分かりやすい簡易版等を作成。

＜振り返りアンケート調査結果例＞

①タイムラインの活用状況を教えてください（複数回答）。



②令和2年7月豪雨のようなタイムラインレベルの移行（水位上昇）が速い洪水で、タイムライン詳細版で行動確認は可能でしたか（活用していない方は想定で回答）。



松江地方气象台

■ 避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

【防災気象情報の充実と気象庁HPへの掲載】

「危険度分布」で本川の増水に起因する内水氾濫の表示を改善

【令和2年5月28日より実施】

➤ 「危険度分布」において「本川の増水に起因する内水氾濫（湛水型の内水氾濫）の危険度」も確認できるよう、本川流路の周辺にハッチをかけて危険度を表示するように改善。



本川の増水に起因する内水氾濫（湛水型の内水氾濫）とは

河川の増水が原因で周辺の支川や下水道からの合流や排水が滞ることによって発生する支川の外水氾濫や下水道の氾濫。本川から支川への逆流によるものや、人為的な水門閉鎖によるものも含む。



■避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

【防災気象情報の充実と気象庁HPへの掲載】

大雨特別警報の警報等への切替後の河川氾濫への注意喚起

【令和2年出水期より実施】

- ▶ 令和元年東日本台風における検証を踏まえ、今年度より大雨特別警報解除後の注意喚起のため、水管理・国土保全局と気象庁の合同会見を実施するとともに、河川氾濫に関する情報を発表することとした。
- ▶ 令和2年7月豪雨においては、熊本県等に発表されていた大雨特別警報の大雨警報への切替に先立って、合同記者会見を計3回開催。また、今後の水位上昇の見込みなど河川氾濫に関する情報を発表し、引き続き警戒が必要であることの注意喚起を行った。

水管理・国土保全局と気象庁との合同記者会見



大雨特別警報は警報に切り替わりますが、既に氾濫が発生しており、引き続き身を守る行動をとっていただくようお願いします。

河川氾濫に関する情報（球磨川の例）

熊本県の大雨特別警報は大雨警報に切り替わりましたが、球磨川では今後も氾濫に警戒が必要です。

熊本県の大雨特別警報は大雨警報に切り替わりましたが、球磨川の洪水はこれからも警戒が必要です。天候が回復しても、氾濫が発生するおそれがあるため、洪水への一層の警戒が必要です。

球磨川では、氾濫発生情報(警戒レベル5相当情報)を発表中です。

河川名	水位観測所	水位状況	今後の見込み
球磨川	球磨 (熊本県八代市)	氾濫発生中	水位上昇中。まもなく最高水位
球磨川	大野 (熊本県球磨郡大野村)	氾濫発生中	水位は横ばい
球磨川	大野 (熊本県球磨郡大野村)	氾濫発生中	水位は横ばい
球磨川	大野 (熊本県八代市)	氾濫発生中	水位は横ばい
球磨川	一武 (熊本県球磨郡)	氾濫危険水位超過	水位は横ばい
球磨川	多良木 (球磨郡多良木町)	氾濫危険水位超過	水位は横ばい

■避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

【防災気象情報の充実と気象庁HPへの掲載】

大雨特別警報の発表指標の改善（変更点）

【令和2年7月30日より全国的に運用開始】

発表指標		50年に一度の値 <5kmメッシュ>			危険度分布の技術（指数） <1kmメッシュ>				
		48時間 降雨量	3時間 降雨量	土壌 雨量 指数	最大危険度 （濃い紫）		新たな発表指標における 基準値に到達した格子		
					土砂 災害	浸水害 又は 洪水	土砂 災害	浸水害 又は 洪水	
これまで	長時間指標	土砂災害	50格子	-	50格子	出現	-	-	-
	浸水害	50格子	-	50格子	-	出現	-	-	
	短時間指標	土砂災害	-	10格子	10格子	出現	-	-	-
	浸水害	-	10格子	10格子	-	出現	-	-	

短時間指標（土砂災害）を改善

改善後	発表指標		50年に一度の値 <5kmメッシュ>			危険度分布の技術（指数） <1kmメッシュ>			
			48時間 降雨量	3時間 降雨量	土壌 雨量 指数	最大危険度 （濃い紫）		新たな発表指標における 基準値に到達した格子	
			48時間 降雨量	3時間 降雨量	土壌 雨量 指数	土砂 災害	浸水害 又は 洪水	土砂 災害	浸水害 又は 洪水
	長時間指標	土砂災害	50格子	-	50格子	出現	-	-	-
	浸水害	50格子	-	50格子	-	出現	-	-	
	短時間指標	土砂災害	-	-	-	-	-	10格子	-
	浸水害	-	10格子	10格子	-	出現	-	-	

新たな短時間指標（土砂災害）

過去の多大な被害をもたらした現象に相当する土壌雨量指数の基準値を地域毎に設定し、この基準値以上となる1km格子が概ね10個以上まとまって出現すると予想され、かつ、さらに雨が降り続けると予想される場合、その格子が出現している市町村等に大雨特別警報（土砂災害）を発表。

※令和2年12月9日時点で43都道府県において新たな短時間指標（土砂災害）を運用中。その他の地域では、新たな短時間指標（土砂災害）の運用を開始するまでの期間は従来の指標を運用。

■避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

【防災気象情報の充実と気象庁HPへの掲載】

「危険度分布」等の発表基準の改善

【松江地方気象台では、令和2年8月6日より運用開始】

- 最新の災害データを用いて基準値の妥当性を確認し、基準の見直しを実施。
- これにより、住民の自主的な避難判断や、市町村の避難勧告等の発令判断がより適時・的確にできるよう、警報・注意報や危険度分布の精度が改善。
- 今後も全国の気象台において、継続的に基準値の見直しを実施する予定。

令和2年に基準値を見直した市町村数（全国）

大雨警報（土砂災害）、大雨注意報、大雨警報（土砂災害）の危険度分布の基準値	7県181市町村
大雨警報（浸水害）、大雨注意報、大雨警報（浸水害）の危険度分布の基準値	29道府県119市町村
洪水警報、洪水注意報、洪水警報の危険度分布の基準値	47都道府県 1,657市区町村 (7,736河川※)

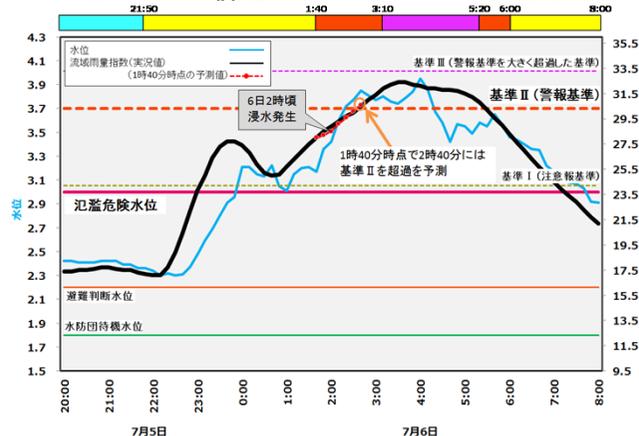
※主要な河川の変更数

○先進事例紹介
「水位データも活用した
洪水警報の基準値の見直し」
～高知県安芸市安芸川の例～

※島根県内河川における右記手法の導入は未定です。

流域雨量指数と河川水位（橋ノ木）の時系列

※図の上部のカテゴリーは、洪水警報の危険度分布における安芸川の危険度の色を示す。



地元関係機関との連携のもと、水位データも活用した新たな設定方法による洪水警報基準の見直しを実施。

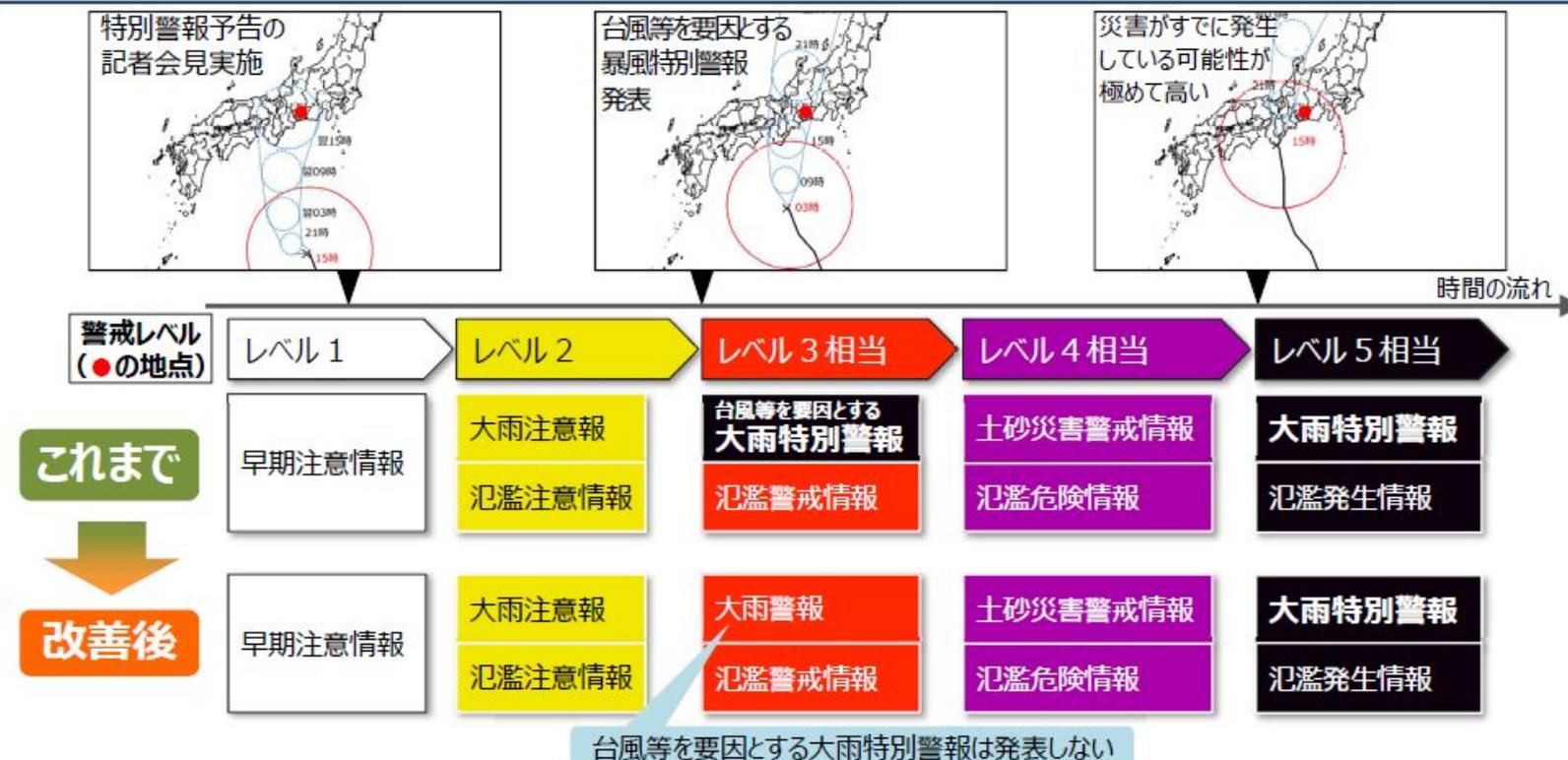
■避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

【防災気象情報の充実と気象庁HPへの掲載】

大雨特別警報と警戒レベルの関係の改善

【令和2年8月24日より実施】

- ▶ 大雨特別警報のうち、台風等を要因とするもの*を見直し、何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い（警戒レベル5相当の）雨を要因とするもののみとする。*台風等の中心気圧や最大風速の発表基準によるもの
- ▶ 伊勢湾台風級の台風が上陸するおそれがある場合には、早い段階から記者会見等を開催するとともに、24時間程度前に開催する記者会見において、台風の接近時の暴風や大雨等による災害に対して極めて嚴重な警戒が必要であることを呼びかける。



※気象業務法第十三条の二第一項の規定に基づき、特別警報の基準（平成二十五年気象庁告示第七号）の一部を改正

■避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

【防災気象情報の充実と気象庁HPへの掲載】

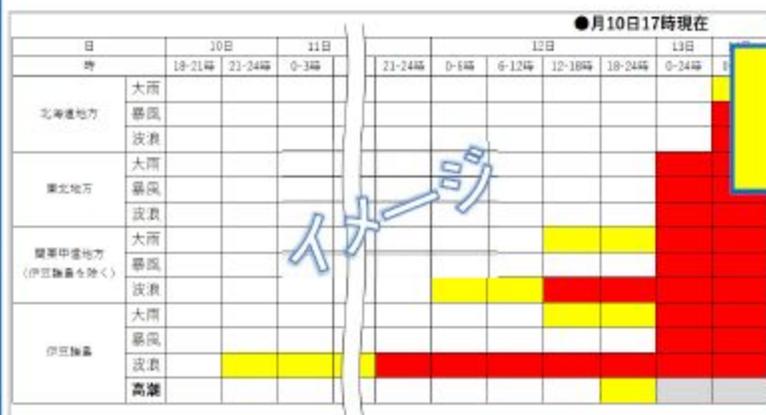
数日先の高潮の警報級の可能性をバーチャートで提供

【令和2年8月26日開始】

- 高潮災害への心構えを早めに高められるよう、5日先までの高潮の警報級の可能性を用いてバーチャートを延長して提供。

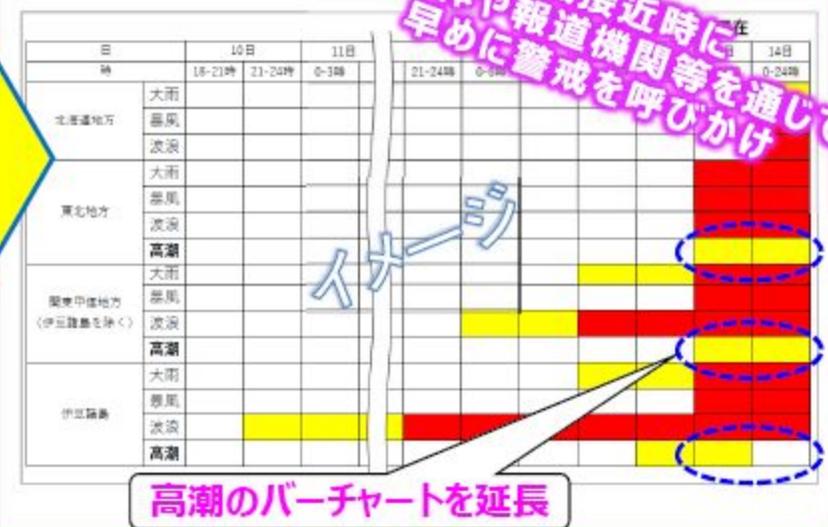
現状

- ✓ 日本付近に台風の接近・通過が予想される場合に限り、高潮災害への警戒呼びかけるため、図形式の気象情報の中で明後日までの注意報級、警報級のバーチャートを提供。



改善後

- ✓ 日本付近に台風の接近・通過が予想される場合に限り、5日先までの高潮の警報級の可能性を、図形式の気象情報等により、バーチャートで提供。



※ また、高潮については、現在は早期注意情報を提供していないことから、台風接近時に限定せずに情報提供ができるよう引き続き技術開発を進め、高潮の早期注意情報の提供に向けた検討を継続する。

■避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

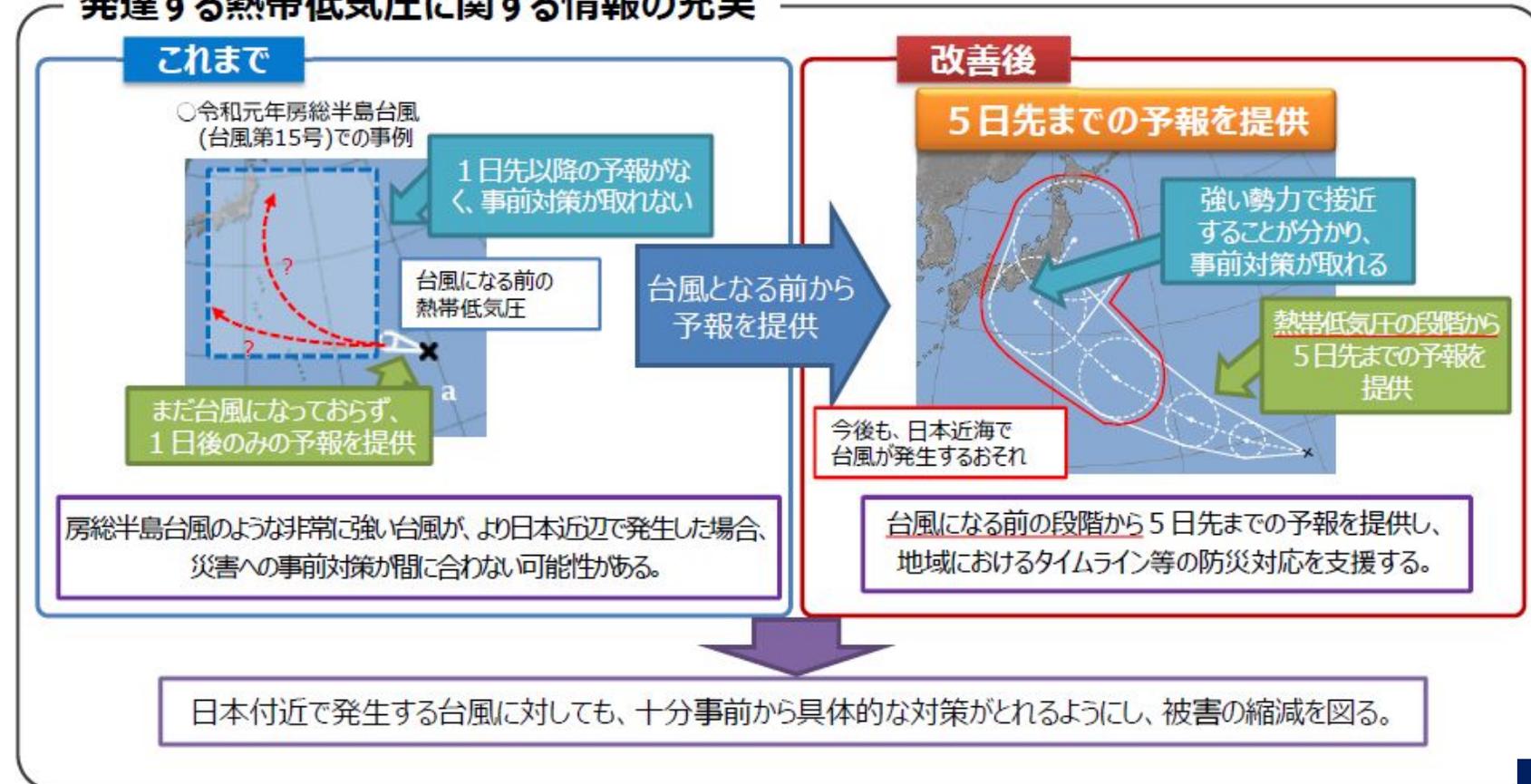
【防災気象情報の充実と気象庁HPへの掲載】

台風が発達する熱帯低気圧の予報を延長しました

【令和2年9月9日より実施】

- 台風接近時の防災行動計画（タイムライン）に沿った対応を効果的に支援するため、24 時間以内に台風が発達する見込みの熱帯低気圧の予報を、これまでの1日先までから5日先までに延長。

発達する熱帯低気圧に関する情報の充実



■ 避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

【防災気象情報の充実と気象庁HPへの掲載】

気象庁ホームページの多言語化

【令和2年9月16日より実施】

➤ 訪日外国人等への情報発信の強化として、内閣府、総務省、観光庁と連携し、気象庁ホームページの台風情報を、他の防災気象情報（※）に続き14か国語で提供開始しました。

多言語による防災気象情報の例（気象庁ホームページ）

台風情報
タイ語の例

ข้อมูลพายุไต้ฝุ่น

หน้าหลัก > ข้อมูลพายุไต้ฝุ่น > ข้อมูลโดยละเอียด

ข้อมูลพายุไต้ฝุ่น : ข้อมูลโดยละเอียด
T2001 (DAMREY)
ประกาศเมื่อ 2020/09/20, 20:50

令和元年10月09日02時

台風第19号

บริเวณพื้นที่ลุ่มรับน้ำที่ความสูง 50 เมตรขึ้นไป

บริเวณพื้นที่ลุ่มรับน้ำที่ความสูง 30 เมตรขึ้นไป

All rights reserved. Copyright © 2010 Japan Meteorological Agency

- [01日12時] หมายเหตุ วันที่ 1 เวลา 12.00 น.
- ศูนย์กลางของไต้ฝุ่นอาจไม่เคลื่อนที่ตามเส้นแนวศูนย์กลางของบริเวณวงกลมขยายกรณีเช่นต่อไป
- บริเวณวงกลมขยายนั้นเป็นการแสดงขอบเขตที่มีโอกาส 70% ที่ศูนย์กลางของไต้ฝุ่นจะเคลื่อนที่ผ่าน "ไม่ได้" แสดงการเปลี่ยนแปลงขนาดของไต้ฝุ่น
- เมื่อไต้ฝุ่นจะเปลี่ยนเป็นพายุรุนแรงหรือพายุหมุนนอกเขตอื่น แต่อาจเกิดสภาพอากาศรุนแรง เช่น ฝนตกหนัก และแสงแดดจ้า ต่อไปได้ สถานีอุตุนิยมวิทยาในเขตพื้นที่มีโอกาสประกาศเตือนภัย ประกาศใช้ธงธง ข้อมูลสภาพอากาศ ฯลฯ ที่ยาวกว่าปกติมากกว่าและแสงแดดจ้า และเสียงก้องกึกในพื้นดินมีเสียงและระลอกๆ ภูเขาเกิดดินโคลนถล่มล่าสุด

各言語のトップページ
インドネシア語の例

Peringatan dan pemberitahuan cuaca

Prakiraan cuaca

gerakan awan hujan

penyebaran peringatan : tanah longsor

penyebaran peringatan : air masuk rumah

penyebaran peringatan : banjir

Peringatan dan pemberitahuan tsunami

informasi gempa bumi

Peringatan dan perkiraan erupsi

氣象警報・注意報
ベトナム語の例

Cảnh báo - thông tin lưu ý khi (Nam)

Chỉnh lại

Tên tỉnh thành

Địa phương

Vùng Hokkaido (Miền Tây Nam)

Tỉnh thành trung ương (To-do-fu-ken)

Thông báo lúc 22:30 ngày 08 tháng 10 năm 2019

Cảnh báo đặc biệt Cảnh báo Thông tin lưu ý Không có công bố

対応言語一覧

- 日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語
- インドネシア語、ベトナム語、タガログ語、タイ語、ネパール語
- クメール語、ビルマ語、モンゴル語

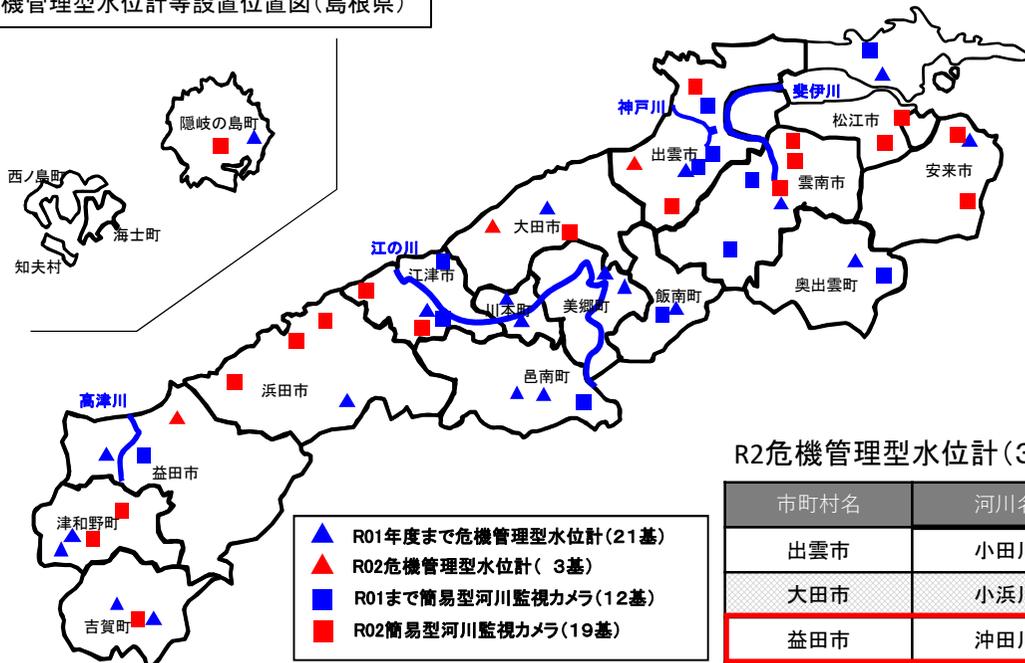
※ 気象警報等、危険度分布、雨雲の動き、天気予報、週間天気予報、高温注意情報、地震情報、津波警報等、噴火警報等

島根県

■洪水に対しリスクの高い箇所を監視する危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラの整備

○R2年度の取組みとして、危機管理型水位計3基、簡易型河川監視カメラ19基を整備（R3.3運用）。
また、過年度作成した島根県水防情報システムに関するチラシを出前講座等で継続配布。

危機管理型水位計等設置位置図(島根県)



R2危機管理型水位計(3基)

市町村名	河川名
出雲市	小田川
大田市	小浜川
益田市	沖田川

R2河川監視カメラ(19基)

市町村名	河川名	市町村名	河川名	市町村名	河川名
松江市	意宇川(出雲郷)	出雲市	堀川(流下橋)	浜田市	三隅川(三隅)
松江市	意宇川(神納橋)	出雲市	神戸川(仁江)	津和野町	高津川(旭橋)
安来市	伯太川(安来大橋)	大田市	静間川(川合橋)	津和野町	津和野川(町田)
安来市	伯太川(弘鶴橋)	江津市	敬川(敬川橋)	吉賀町	高津川(塔尾橋)
雲南市	赤川(町上)	江津市	八戸川(江尾)	隠岐の島町	八尾川(中条)
雲南市	久野川(日の出橋)	浜田市	下府川(府中橋)	これら以外に、既設カメラ更新(17箇所)	
雲南市	斐伊川(日登)	浜田市	浜田川(浜田大橋)		

危機管理型水位計設置例



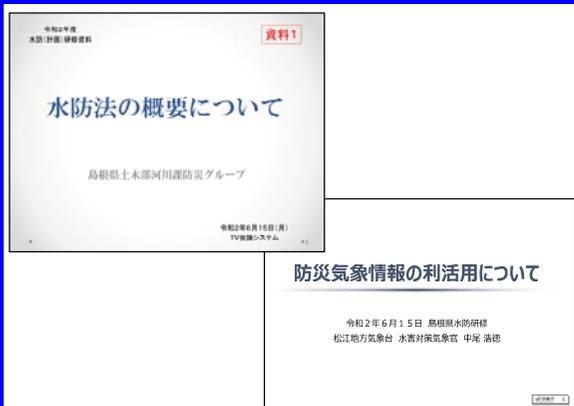
河川監視カメラ(夜間映像)



■地域の洪水特徴を踏まえた水害(防災)教育の普及・充実

○関係機関と連携して水害(防災)教育の普及啓発に務めた。

県・市町村職員向け
水防研修会の実施(島根県・松江地方気象台)



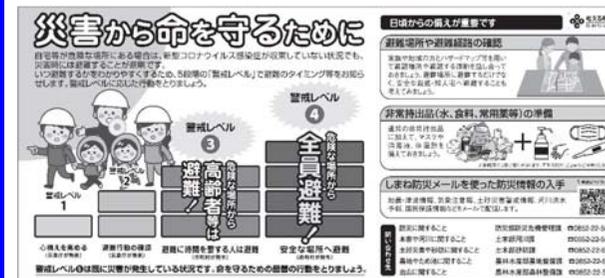
日時 令和2年6月30日(火) 9:00~12:00
場所 県庁南庁舎災害対策室ほか(Web形式)
対象 県職員 約20名
内容 水防法・島根県水防計画の概要 島根県河川課
防災気象情報の利活用 松江地方気象台

自主防災組織リーダー研修会の実施
(島根県)



日時 令和2年11月28日(土) 9:30~17:00
29日(日) 10:00~16:30
場所 益田市人権センター
対象 自主防災組織構成員、自治会関係者 約45名
内容 防災気象情報の利活用について 松江地方気象台
ワークショップ、まちあるき・災害図上訓練ほか

新聞広報による情報発信
考える県政の掲載(島根県)



日時 令和2年6月20日(土)
内容 「警戒レベル」と避難のタイミングについて
日頃からの災害の備えについて
島根県が配信する各種防災情報の入手先について

中学生を対象とした防災学習会(島根県)



日時 令和2年6月3日(水)、6月10日(水)、7月2日(木)、9月9日(水)、9月28日(月)
場所 桜江中学校、八戸川河川災害関連事業現場
対象 桜江中学校1年生 約20名
内容 川の役割・仕組み、川の歴史、浸水害等から身を守る(防災)、それらを踏まえた治水事業

保育園児等を対象とした防災学習会(島根県)



日時 ①令和2年8月26日(水)、②11月27日(金)
場所 ①平田保育園、②みなみ保育園
対象 ①3~5歳児約140名、②3~5歳児約90名
内容 ①②紙芝居による避難の重要性周知・避難する時の合言葉

江津市

■小中学校などと連携した江の川(下流)水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の普及・充実

【防災出前講座】

- 市内小中学校で防災講座を実施した。
- 市役所の防災担当の仕事や災害事例の紹介、備蓄物資の確認などを行った。
- 浸水想定区域等を確認し、避難場所等を確認した。

浸水想定区域や避難場所の確認



備蓄倉庫の確認



避難所運営体験



■小中学校への防災出前講座

- | | |
|--------|-------|
| 7月2日 | 桜江中学校 |
| 9月9日 | 青陵中学校 |
| 9月28日 | 桜江小学校 |
| 10月6日 | 渡津小学校 |
| 10月7日 | 高角小学校 |
| 10月8日 | 渡津小学校 |
| 10月12日 | 渡津小学校 |
| 12月1日 | 郷田小学校 |

■参加者の感想

- ・江津市は雨の災害が多いところだという事が分かった。
- ・備蓄倉庫に水や食料が置いてあって、災害に備えられているという事がわかった。
- ・段ボールベッドやパーテーションを組み立てたことが面白かった。
- ・避難所がどこにあるか分かった。
- ・自分の家が浸水想定区域や土砂災害警戒区域にあることがわかった。



■今後に向けて

市役所の防災担当の仕事や災害の事例を紹介する事で、防災意識の醸成につながった。来年度以降は、防災マップを元に災害を自分事として考えてもらえるような講座を計画したい。

川本町

■防災教育の推進：防災教育を実施する学校と連携し、防災に関する授業を実施

【防災授業：川本小学校】

- 防災に関する基本事項の取得を目的に、小学校4年生に防災授業を実施。
- 「自分の命は自分で守る」「早めの避難が大事」といった防災意識の普及を行った。
- 令和2年7月豪雨での江の川の写真やドローンによる映像等により水害の恐ろしさを伝えた。

■授業の概要

日 時：令和2年10月15日（木）
10:40～11:20

場 所：川本小学校

内 容：①防災について
②令和2年7月豪雨の状況等について

参加者：児 童17名
教職員2名
町職員1名

■感想（児童）

- ・命を守ることは大切だと改めて思いました。
- ・もしもの時に備え、食料を備蓄しようと思いました。
- ・避難場所の確認をしたいと思いました。
- ・自分でも準備をして災害に備えて、早めに逃げられるようにしたいです。
- ・ハザードマップのことを教えてもらって勉強になりました。

■開催の状況



■ドローンによる映像



美郷町

■水防活動の効率化及び水防体制の強化(■排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施)

【内水排除用ポンプの整備及び水防団を対象とした研修会の開催】

①令和元年度(令和2年3月導入)に整備した、内水排除用エンジンポンプ(5台)の操作研修会を内水はん濫のおそれがある地域の水防団(消防団員)を対象に開催。

日時:令和2年6月21日
9:00~12:00

場所:防災公園グラウンド

内容:基本的な操作訓練、運搬方法
運用上の注意点等

参加者:水防団(消防団員)28名
ポンプメーカー技術者等

■開催時の状況



②令和2年度において、内水排除用エンジンポンプ5台を整備
(令和2年7月豪雨時における運用状況から一部仕様変更)

【諸元】 ポンプ径:150mm
最大全揚程:28m
最大吐出量:3,300ℓ/min
揚程10m…2,500ℓ/min
揚程20m…1,400ℓ/min

■7月14日内水排水作業の状況



邑南町

■ 小中学校などと連携した江の川(下流)水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の普及・充実
【地域の学校を対象とした防災講座】

- 令和2年9月1日に町内にある石見東小学校と県立石見養護学校にて防災講座を実施した。
- 石見東小学校では、3年生を対象に防災について町の取り組みや、ハザードマップを見ながら自分の家から近い避難所を確認した。
- 石見養護学校では、教職員を対象に邑南町の災害や、防災の取り組みについて確認した。

石見東小学校



石見東小学校



石見東小学校



■ 参加者の意見
(小学生)

- ・ 防災について、とても役に立った。
- ・ 危険な場所とそうでないところが分かった。
- ・ 防災の情報をいっぱい知ることができた。小学校の場所が危険かどうか分かった。
- ・ 防災についてのいろいろな言葉が分かった。
- ・ 土砂災害の怖さについて勉強になった。家にかえって話をしてみたい。
- ・ 今日の勉強はおもしろかった。町の取り組みもよく分かった。
- ・ 防災のことを勉強してたくさん分かった。

■ 開催までの経緯

石見養護学校	石見東小学校
7月17日 打ち合わせ	8月18日 打ち合わせ
9月1日 防災出前講座	8月25日 打ち合わせ
	9月1日 防災出前講座

■ 今後に向けて

今回の出前講座では、過去の災害を参考に邑南町における災害の特徴や、ハザードマップの使い方について説明を行った。
 今後は、災害発生のおそれがある時の状況を時間ごとに想定し、どう行動するかをあらかじめ決めておく、避難行動計画の作成に向け説明会を行っていきたい。

益田市

(目的)

災害対策基本法第48条に基づき、防災関係機関の連携を強化し、地域住民及び民間団体の協力、参加を得て、より実践的な防災訓練を実施することにより、災害時における迅速、的確な対応が出来る体制の確立を目指すとともに、住民の防災活動の重要性等、防災意識の高揚を図り、防災体制の万全を期することを目的とする。

- ・実施日時 令和2年10月27日(火) 9:30~11:00
- ・実施場所 益田市立市民学習センター
- ・訓練想定 大雨による高津川の洪水
- ・参加機関 益田市、益田広域消防本部、益田警察署、公民館職員
- ・実施内容 新型コロナウイルス感染症対策として、避難所設営を行い、注意点等を実地訓練で学ぶ。併せて段ボールパーティション等“新しい生活様式”を踏まえた避難所設営と感染症対策資材の確認を行い、各種災害に備える。
- ・参加人数 53名

※今年度の防災訓練については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため規模を縮小して実施した。



段ボールパーティション組立



段ボールベッド組立



折畳み式簡易ベッド組立



1区画完成



避難者の消毒。検温



避難者の情報確認



体調不良者の通報



体調不良者の搬送

■定住外国人を対象とした防災講座と防災情報ツールの提供

【定住外国人を対象にしたやさしい日本語での防災講座】

- 益田市で外国人を対象とした防災講座を実施した。
- 自分の家から近い避難所を確認し、避難経路や避難するための情報を地図やスマートフォンで確認した。
- 今回の防災講座で学んだことを、今後の益田市での生活に役立ててもらおう



浜田河川国道事務所からの防災講座



ハザードマップの確認



自宅から避難所までのルートを記入



外国人向け防災アプリのインストール実施

○役割分担

- ・浜田河川国道事務所：説明資料、当日の説明・運営
- ・益田日本語ボランティアグループともがき：参加者への周知・案内
- ・益田市：事前調整、会場予約、当日の運営

○今後に向けて

防災講座で使用した地図は、参加された皆さんに持って帰ってもらい、実際に災害が起こった際に避難所に避難するために活用してもらおうこととした。外国人向けの防災アプリについても積極的に活用してもらおうようお願いした。

日 時 6月20日、11月21日
場 所 吉田公民館
内 容 防災学習会

吉田地区防災協議会で益田市の防災に関する取り組みを講話した。防災ハザードマップの活用や災害発生時の避難の方法など活発な意見交換が行われた。

11月21日は浜田河川国道事務所が講師となって「マイ・タイムライン」の説明を含めた防災講座を実施した。

参加者 各30人程度



会場全体の様子

日 時 7月22日
場 所 島根県建築士会益田支部
内 容 防災講座（防災ハザードマップ）

益田支部女性委員会の主催で防災について学ぶため、防災ハザードマップを中心に講話した。建築士として防災意識と知識を高めるきっかけとしてもらった。

参加者 12人

日 時 9月15日
場 所 高津地区民生委員児童委員協議会
内 容 防災講座

高津川沿い高津地区の民生委員児童委員に対して防災について講話した。要配慮者への対応について学んでもらった。

参加者 20人

日 時 11月17日
場 所 吉田小学校
内 容 防災講習

昭和58年の水害の映像を見てもらい、防災ハザードマップの説明を行った。その後、防災備蓄食を試食し、水害に備えて家族で話し合うことが大切ということ学んでもらった。

参加者 84人（4年生）



58年の水害映像を視聴



防災備蓄食の試食

ハザードマップの学習

(2) 令和2年出水期後の振り返りについての意見交換会

【概要】

江の川では、今年の7月13日～14日の出水（以下、令和2年7月豪雨とする）において、氾濫発生や浸水被害等が発生した。令和2年7月豪雨での経験を踏まえ、今後の災害対応について、江の川の関係機関で課題や今後連携したいことなどの情報共有や意見交換をすることを目的に「令和2年出水期後の振り返り」を開催した。意見交換では、情報共有の方法など今後の関係機関の連携に寄与する意見交換が行われた。今後のスケジュールについては、担当者会議や幹事会、協議会で意見交換結果を報告する。

【主な意見】

令和2年7月豪雨等での課題や今後連携したいこと

【江津市】

- ・災害対策本部の人員不足もあり、島根県総合防災情報システムへの入力に課題があった。

【川本町】

- ・川本水位観測所の水位が何mになったらどこが浸水するか事前に把握したい。

【美郷町】

- ・現在は、様々な情報がインターネット上で入手できるが、これらの情報をどのように分析して、各種判断に活かすかが難しい。

【邑南町】

- ・水位予測の情報を市町でも確認できるようにしたい。
- ・氾濫発生情報発表地区をもう少し小さくして運用してほしい。

【島根県】

- ・浜田河川国道事務所で操作している樋門や排水ポンプ車出動のタイミングなどがわかれば参考にしたい。
- ・島根県総合防災情報システムについて、研修等による入力支援を実施していく。

開催日：令和2年10月22日（木）

場所：浜田河川国道事務所 会議室

参加機関：江津市、川本町、美郷町、邑南町、島根県（防災部、土木部、県央県土整備事務所、浜田県土整備事務所）、松江地方気象台、浜田河川国道事務所

※本会議は、検温、アルコール消毒、アクリル板設置等の新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施したうえで開催



令和2年出水期後の振り返り 意見交換会の状況

【概要】

令和2年10月22日に開催した「令和2年出水期後の振り返り意見交換会」の意見の再確認と事務局で整理した今後の対応案について、関係機関の担当者と確認した。また、減災対策協議会における国土交通省の取組状況(防災教育や他機関連携タイムライン)の紹介や今後の予定についての報告を行った。

【主な意見】

【江津市】

- ・災害時に防災情報システムの入力の支援のために、県職員を派遣していただきたい。防災情報システムに入力するために、どのような情報を収集すべきかも事前の研修でおしえていただきたい。

【川本町】

- ・浜原ダム放流量は、引き続き、公表の検討をお願いしたい。
- ・災害時に、収集する情報がかなり多いため、情報共有サイトの整備も強くお願いしたい。

【美郷町】

- ・自主防災組織や自治会への説明のために、1/30規模や1/50規模などの中規模の浸水をイメージできるような、ソフト対策強化に資する資料がほしい。

【島根県】

- ・災害時に、電話で何度も情報をやりとりする負担を減らすためにも、情報収集サイトの整備は是非お願いしたい。
- ・既存情報の活用については、島根県も国交省も防災関係のポータルサイトは作成済みであるため、再周知を行ったうえで、必要な情報のみを集約したサイトができるとよい。

【国交省】

- ・減災対策協議会では、今後の5年間の取組方針を再検討し、新たな取組方針を作成する予定である。

開催日：令和2年12月22日（火）

場所：浜田河川国道事務所 会議室※1

参加機関：江津市、川本町、美郷町、邑南町、島根県（防災部、土木部、県央県土整備事務所※2、浜田県土整備事務所）、松江地方気象台、浜田河川国道事務所

※1本会議は、検温、アルコール消毒、アクリル板設置等の新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施したうえで開催

※2会議当日は別件のため欠席であったが、事前に資料の意見照会を実施



令和2年出水期後の振り返り 意見交換会の状況

令和2年7月豪雨の出水概要

気象概要

- 日本海西部の低気圧からのびる前線が、13日から14日にかけて中国地方を通過しました。暖かく湿った空気が流れ込んだため、広い範囲で150～200ミリの大雨となりました。

■ 等雨量線図

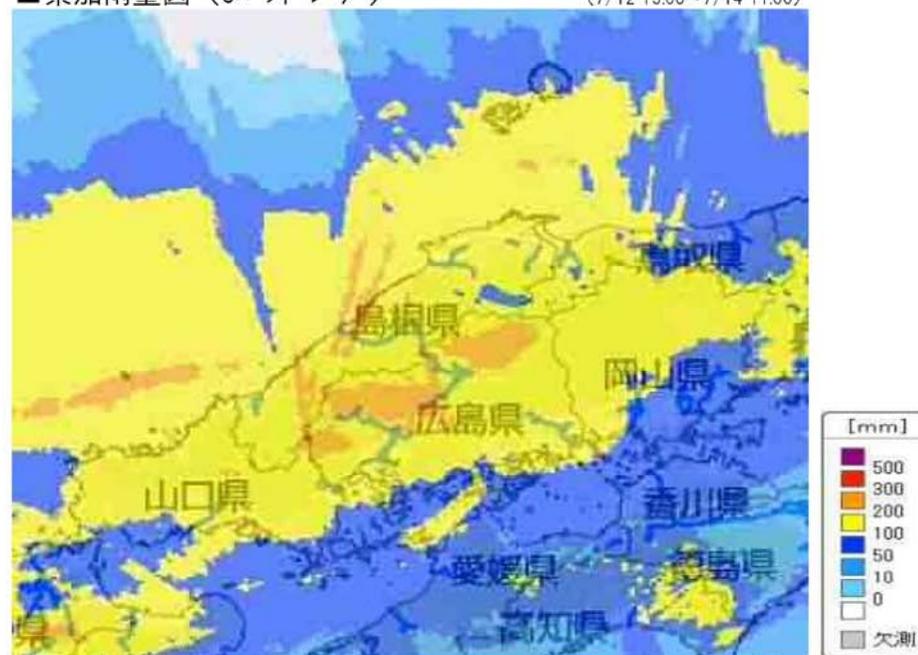
※降り始めからの総雨量
(7/12 15:00～7/14 11:00)



【国土交通省作成】

■ 累加雨量図 (Cバンドレーダ)

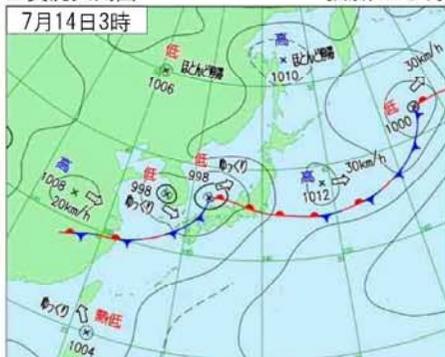
※降り始めからの総雨量
(7/12 15:00～7/14 11:00)



【国土交通省作成】

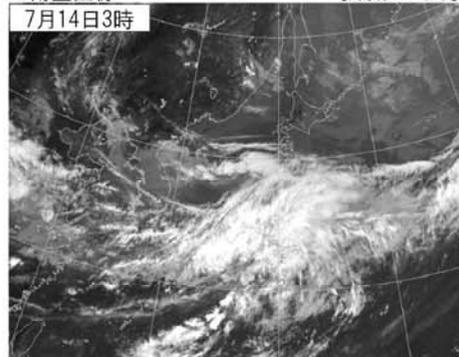
■ 実況天気図

【気象庁HPより】



■ 衛星画像

【気象庁HPより】



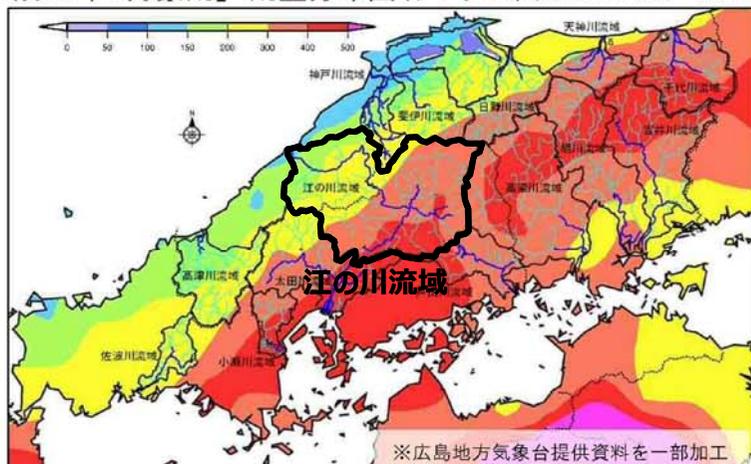
※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

令和2年7月豪雨の出水概要

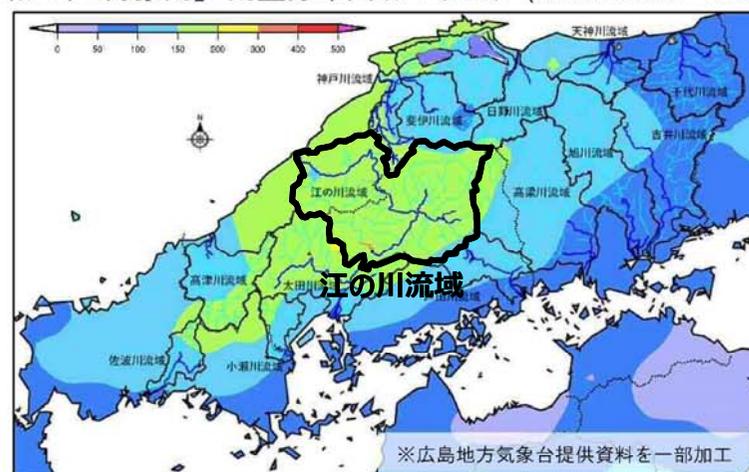
平成30年7月豪雨との比較

- 中国地方における近年の豪雨災害として著名な平成30年7月豪雨と令和2年7月豪雨の総雨量分布を比較すると、ともに梅雨前線の影響により広い範囲で大量の雨が降っており、平成30年7月豪雨は瀬戸内海側に多く、令和2年7月豪雨では広島県北部及び島根県石見地方を中心に多い傾向でした。
- 平成30年7月豪雨は、7月5～7日の3日間にかけて連続的に降り続け、多いところでは400～500mm程度の累加雨量が記録されました。
- 一方、令和2年7月豪雨は、7月6～14日の8日間にかけて断続的に降り続け、特に7月13～14日の2日間に降雨が集中し、多いところでは200mm程度の累加雨量が記録されました。また、これまでの降雨により13日の降り始めの時点から河川水位は平水位よりも高い状態であった河川もみられました。

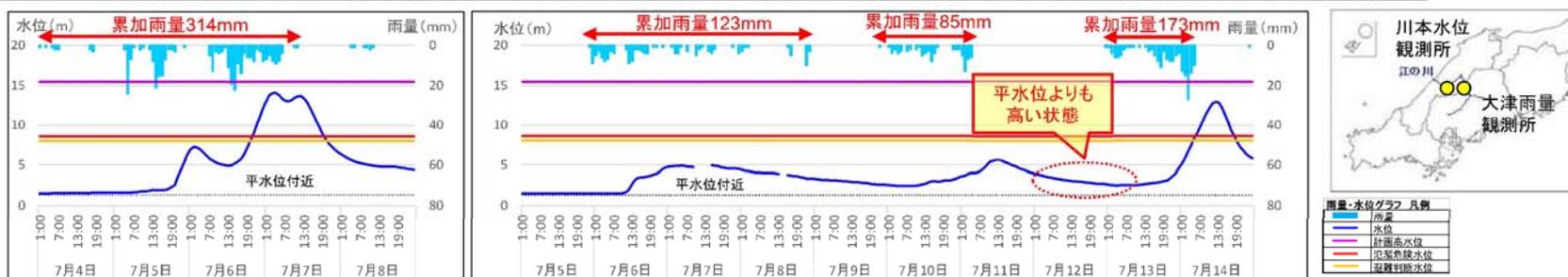
【平成30年7月豪雨】雨量分布図(アメダス) (2018/7/5 0:00～7/9 9:00)



【令和2年7月豪雨】雨量分布図(アメダス) (2020/7/13 0:00～7/15 0:00)



平成30年7月豪雨及と令和2年7月豪雨における降雨・水位の比較(江の川(下流) 大津雨量観測所, 川本水位観測所)



※「累加雨量」は、無降雨が一定期間続くと累加雨量がリセットされます。 ※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

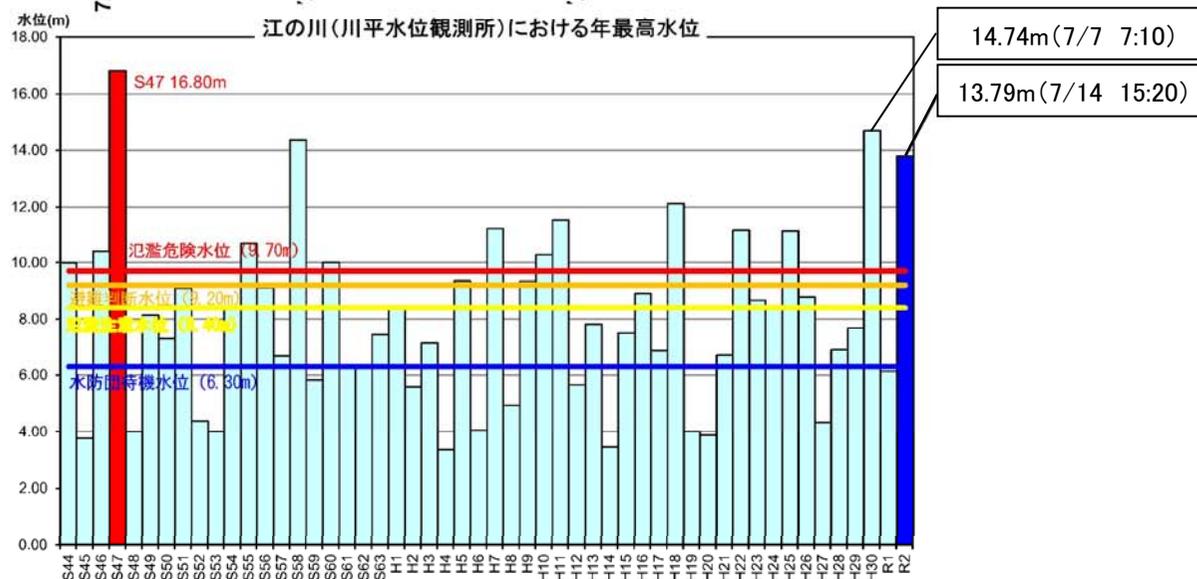
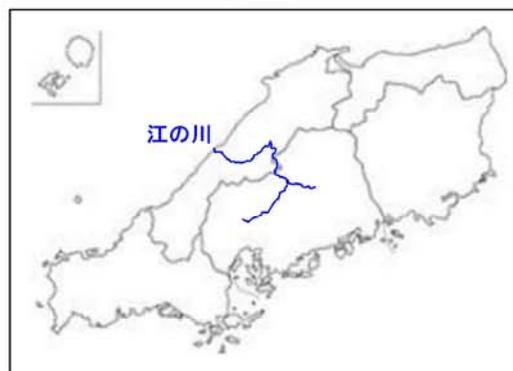
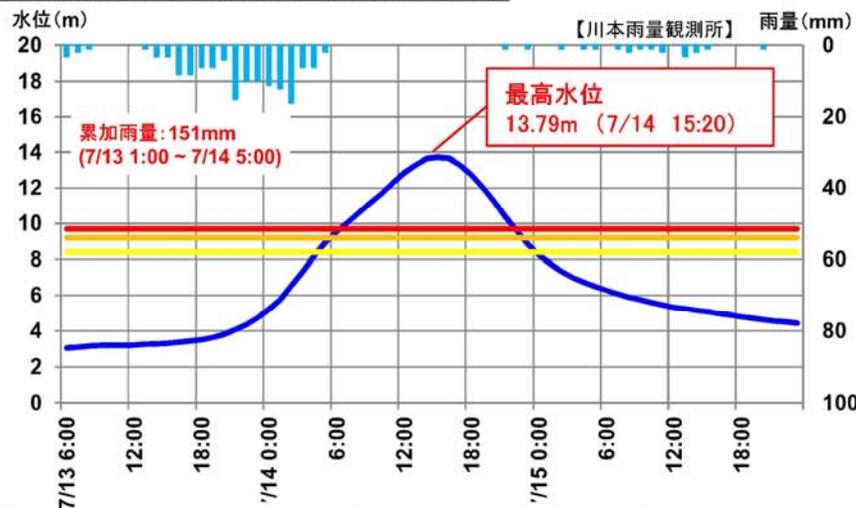
令和2年7月豪雨の出水概要

水の状況(江の川(下流)川平地点)

■ 江の川水系江の川(下流)川平地点において、氾濫危険水位(9.70m)を超過し、最高水位13.79mを記録しました。



■ 江の川水系江の川(下流)川平水位観測所

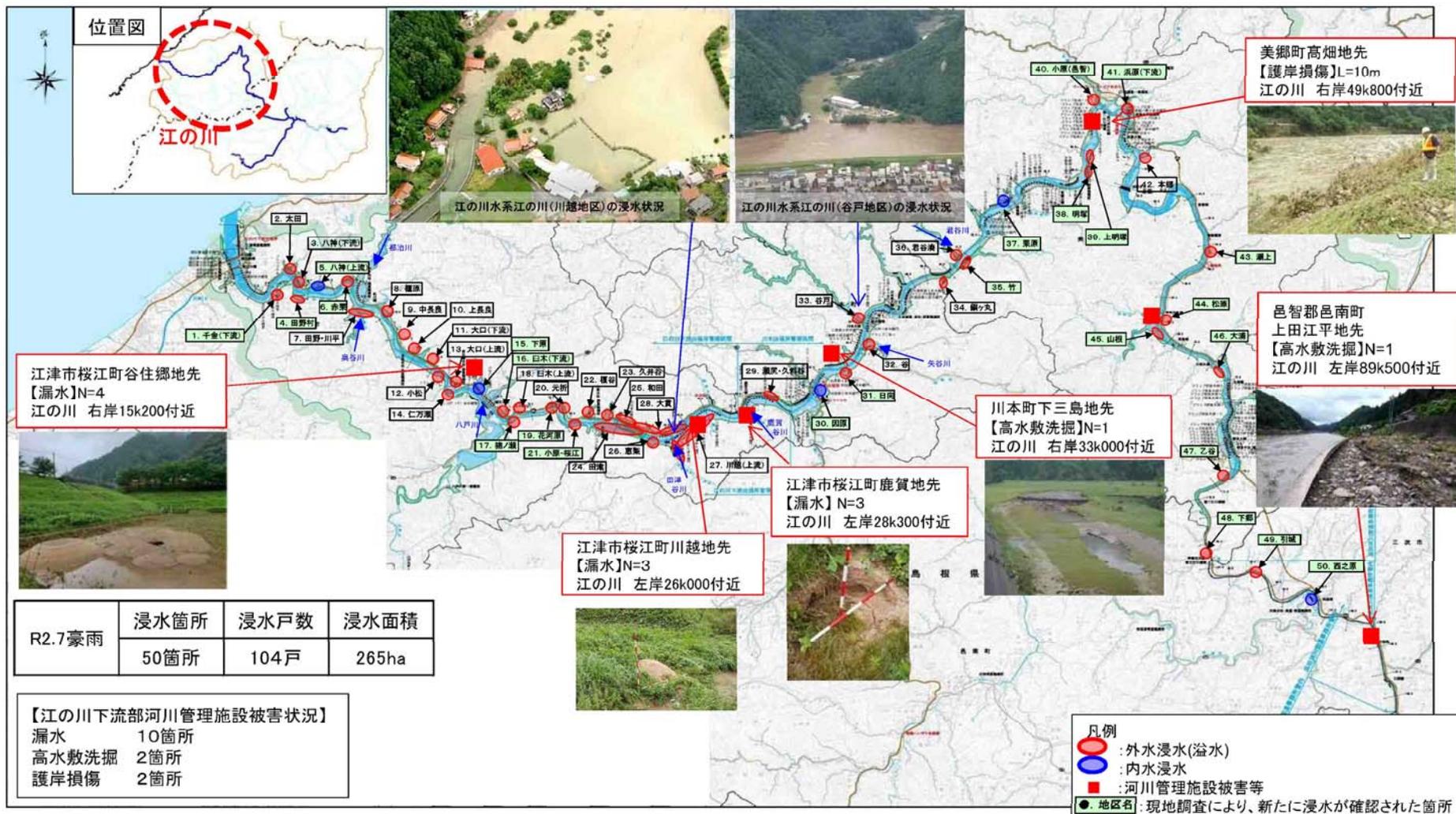


※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

令和2年7月豪雨の出水概要

江の川(下流)の被災状況

- 江の川下流部（島根県側）の沿川において、浸水面積：265ha、浸水戸数：104戸の浸水被害を確認しました。
- 河川管理施設被害については、高水敷の洗掘や護岸の損傷等が発生しました。



国土交通省調べ(令和2年8月25日時点)

※数値等は今後の精査等により変更する場合があります。

令和2年7月豪雨の出水概要

浸水箇所一覧

江の川下流(島根県)					
NO	河川名	市町村	浸水箇所 地区名	地 点	
				左右岸	KP
1	江の川	江津市	千金(下流)	左岸	3.6~5.2
2	江の川	江津市	太田	右岸	4.6~5.0
3	江の川	江津市	八神(下流)	右岸	5.0~5.8
4	江の川	江津市	田野村	左岸	5.4~6.2
5	江の川	江津市	八神(上流)	右岸	5.8~7.0
6	江の川	江津市	赤栗	左岸	7.2~7.8
7	江の川	江津市	田野・川平	左岸	8.8~9.6
8	江の川	江津市	榎原	右岸	9.6~10.4
9	江の川	江津市	中長良	右岸	10.6~11.4
10	江の川	江津市	上長良	右岸	11.6~12.6
11	江の川	江津市	大口(下流)	右岸	12.8~13.2
12	江の川	江津市	小松	左岸	13.2~13.8
13	江の川	江津市	大口(上流)	右岸	13.6~14.4
14	江の川	江津市	仁万瀬	左岸	14.4~14.8
15	江の川	江津市	下原	右岸	15.0~15.6
16	江の川	江津市	白木(下流)	右岸	16.4~17.0
17	江の川	江津市	猪ノ瀬	左岸	17.0~17.2
18	江の川	江津市	白木(上流)	右岸	17.4~17.8
19	江の川	江津市	花河原	左岸	18.8~19.2
20	江の川	江津市	元折	右岸	19.2~19.8
21	江の川	江津市	小原一棧江	左岸	20.0~20.2
22	江の川	江津市	榎谷	右岸	20.4~21.4
23	江の川	江津市	久井谷	右岸	21.4~21.6
24	江の川	江津市	田津	左岸	20.8~23.0
25	江の川	江津市	和田	右岸	21.8~22.8
26	江の川	江津市	恵梨	左岸	23.2~23.4
27	江の川	江津市	川越(上流)	左岸	24.0~26.6
28	江の川	江津市	大貴	右岸	22.8~24.8
29	江の川	川本町	瀬原・久料谷	右岸	29.2~30.2
30	江の川	川本町	因原	左岸	31.0~32.0
31	江の川	川本町	日向	左岸	32.8~33.0
32	江の川	川本町	谷	左岸	34.2~34.4
33	江の川	川本町	谷戸	右岸	35.0~35.2
34	江の川	川本町	銅ヶ丸	左岸	39.6~39.8
35	江の川	美郷町	竹	左岸	40.2~41.4
36	江の川	美郷町	君谷湊	右岸	40.4~40.6
37	江の川	美郷町	栗原	右岸	43.4~44.6
38	江の川	美郷町	明塚	左岸	47.8~48.4
39	江の川	美郷町	上明塚	左岸	48.4~49.2
40	江の川	美郷町	小原(色智)	右岸	51.0~51.2
41	江の川	美郷町	浜原(下流)	右岸	52.0~52.2
42	江の川	美郷町	本郷	右岸	54.4~54.6
43	江の川	美郷町	潮上	右岸	63.8~64.6
44	江の川	美郷町	松原	右岸	67.6~68.2
45	江の川	美郷町	山根	左岸	68.4~69.0
46	江の川	美郷町	大浦	左岸	71.0~72.0
47	江の川	美郷町	乙谷	左岸	76.2~76.4
48	江の川	邑南町	下郷	左岸	80.2~80.6
49	江の川	邑南町	引城	左岸	83.0~83.6
50	江の川	邑南町	西之原	左岸	86.2~86.8

	第2報		第3報
浸水箇所数	25箇所	⇒	50箇所
浸水家屋数	143戸	⇒	104戸
浸水面積	223.3ha	⇒	264.7ha

※ 緑着色箇所は、第2報発表以降、現地調査により新たに浸水が確認された箇所

意見交換会での主な意見

①現場情報の把握

対策本部と現場の情報共有が滞り、情報不足により状況把握が困難であった。

②既存情報の活用

危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラなど多くの情報があるものの、点在しており情報収集が困難であった。また、収集した情報を分析して、各種判断に活かすことが困難であった。

③平時からの準備・訓練

災害対策本部の人員不足もあり、島根県の総合防災情報システムに入力できなかった。出水期前の操作研修は、新型コロナウイルスの感染拡大防止等により研修できなかった。

④タイムラインの活用

タイムラインはメールによるレベル移行は確認できたが、タイムラインに対応する時間がなく、出水時には結果的にあまり活用できなかった。一方で、事前・事後の確認にはタイムラインは活用できた。

令和2年出水期後の振り返り意見交換会を踏まえた対応案

	現状・課題	今後の対応案
① 現場情報の把握	<ul style="list-style-type: none"> ● 対策本部と現場の情報共有が滞り、情報不足により状況把握が困難であった。 ● 氾濫発生時の発表遅延（道路浸水により交通途絶が発生し、巡視が実施できず、情報が収集できなかった） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 孤立化する無堤地区への危機管理型水位計の増設 ● 氾濫発生情報発表のための簡易型河川監視カメラの増設 ● 河川水位に対応した想定される浸水範囲図面の提示 ● ダム放流量の公表についての協議 ● 水防団からの情報収集の協力
② 既存情報の活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラなど多くの情報があるものの、点在しており情報収集が困難であった。 ● 収集した情報を分析して、各種判断に活かすことが困難であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 点在する情報を一元化した情報収集サイトの構築 ● 洪水予測を確認するためのサイトのID・PWを再共有（前回会議後に共有済、今後は担当者の異動も想定し出水期前に確認）
③ 平時からの準備・訓練	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害対策本部の人員不足もあり、島根県の総合防災情報システムに入力できなかった。出水期前に総合防災情報システムの操作研修を行う予定であったが、コロナ等により研修できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 減災対策協議会における各機関の防災訓練状況の共有（横のつながりの強化）
④ タイムラインの活用	<ul style="list-style-type: none"> ● タイムラインはメールによるレベル移行は確認できたが、タイムラインに対応する時間がなく、出水時には結果的にほとんど活用できなかった。 ● 一方で、事前・事後の確認にはタイムラインは活用できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 関係機関へタイムラインの振り返りに関するアンケートを実施 ● アンケート結果を踏まえたタイムラインの修正・更新 ※タイムライン検討会でアンケート調査実施済み

(3) 今後のスケジュール

今後のスケジュール

令和2年5月28日・29日
令和2年度第1回協議会

令和元年度の取組状況（フォローアップ）、
令和2年度の取組確認 等

各種メニューの調整・実施
令和2年出水期の振り返り

- ・ 小学校を対象とした防災教育の促進（郷田小学校・吉田小学校）
- ・ 外国人への防災講座の促進（益田日本語ボランティアグループ ともがき）
- ・ 水害を対象とした防災講座（イズミ・ゆめタウン江津）
- ・ マイ・タイムライン作成支援（益田市吉田地区 第2回講習会は1/30予定）
- ・ 多機関連携タイムラインの運用・振り返り
- ・ 令和2年度出水期の振り返り意見交換会（江の川流域）

令和3年1月27日
令和2年度第2回幹事会

令和2年度の取組状況（令和2年度出水期における振り返り含む）、
今後予定、調整事項等

令和3年2月10日
令和2年度第2回協議会

令和2年度の取組状況（令和2年度出水期における振り返り含む）、
今後のスケジュール

今後5年間の新たな取組方針を検討予定

令和3年4月下旬
令和3年度第1回幹事会

令和2年度の取組状況の報告及びフォローアップ
今後5年間の新たな取組方針について
今後のスケジュール

令和3年5月下旬
令和3年度第1回協議会

令和2年度の取組状況の報告及びフォローアップ
今後5年間の新たな取組方針について
今後のスケジュール

令和2年4月30日付け国水計調第1号,国水情第4号、国水環保第2号「大規模氾濫減災協議会」の運用について」に基づき、令和2年度をもって「地域の取組方針」の対象期間が終了する協議会にあつては、令和2年度中に「地域の取組方針」の見直しを行うこととする。

見直しにあたっての基本方針

地域の取組方針の改定にあつては、緊急行動計画の取組項目のうち、平成31年3月29日付け水政課長他通知「水防法第15条の9及び第15条の10条に基づく「大規模氾濫減災協議会」の運用についての『7. 協議会の取組内容』に記載されている取組内容に対して完了しているか継続すべきかを判断する。

- 上記文書『「大規模氾濫減災協議会」の運用』の『7. 協議会の取組内容』に記載されている取組内容に関しては、担当される水系の今後の5年間の取組に加えることを基本として、記載しない場合は記載しない理由を整理するものとする。
 - 特に、取り組みが進んでいない項目については、目標を定め積極的に記載するものとする。
- (例) 水害危険性の周知、水害実績等の周知、ハザードマップ、要配慮者避難確保計画、防災教育(特にマイ・タイムライン)、まるごとまちごとハザードマップなど